

## 第2章

## 障害のある人を取り巻く現況

## 第2章 障害のある人を取り巻く現況

### 1 身体障害のある人の状況

#### (1) 身体障害者手帳交付者数の推移（障害種類別）

平成27年の身体障害者手帳交付者数は4,127人、令和2年の身体障害者手帳交付者数は4,312人です。

平成27年と令和2年の手帳交付者数を比較すると185人の増加で、4.5%の増となっています。

平成27年と令和2年の交付者数を障害種別に比較すると、内部機能障害が251人と大きく増加しています。

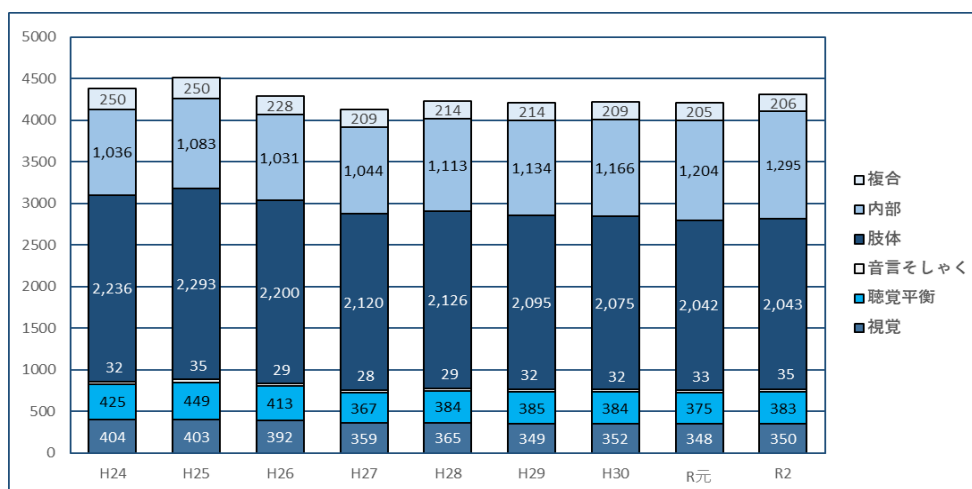
令和2年の総人口は115,839人で、手帳交付者は総人口の3.7%となっています。

令和2年における障害の種類別では、肢体不自由が2,043人で最も多く、手帳交付者全体の約半数を占めています。

身体障害者手帳交付者数の推移（障害種類別） 各年4月1日現在（単位：人）

障害別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
視覚	404	403	392	359	365	349	352	348	350
聴覚平衡	425	449	413	367	384	385	384	375	383
音言そしゃく	32	35	29	28	29	32	32	33	35
肢体	2,236	2,293	2,200	2,120	2,126	2,095	2,075	2,042	2,043
内部	1,036	1,083	1,031	1,044	1,113	1,134	1,166	1,204	1,295
複合	250	250	228	209	214	214	209	205	206
計	4,383	4,513	4,293	4,127	4,231	4,209	4,218	4,207	4,312

※ H25年度に、喪失みなし者（手帳返還等の手続をしていないが、死亡等が確認された者）の登録削除を行ったため平成26年度の手帳所持者が減少している。



(2) 身体障害者手帳交付者数の推移（等級別）

令和2年における障害の等級別では、1級が1,443人で最も多く、手帳交付者全体の33.5%を占めています。

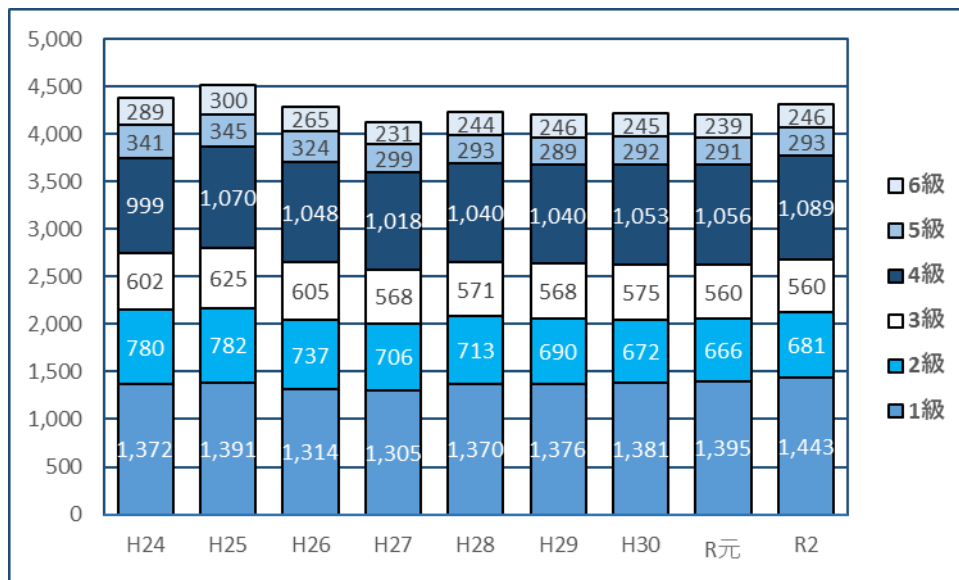
次いで、4級が1,089人で25.3%、2級が681人で15.8%になっています。1級と2級を合わせると2,124人で、手帳交付者全体の約半数となり、手帳交付者の約半数は1級又は2級の重度障害者です。

平成27年と令和2年の交付者の増加数を等級別に比較すると1級で138人、4級で71人、6級で15人の増となっていますが、その他の等級は減少しています。

身体障害者手帳交付者数の推移（程度別） 各年4月1日現在（単位：人）

等級別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
1級	1,372	1,391	1,314	1,305	1,370	1,376	1,381	1,395	1,443
2級	780	782	737	706	713	690	672	666	681
3級	602	625	605	568	571	568	575	560	560
4級	999	1,070	1,048	1,018	1,040	1,040	1,053	1,056	1,089
5級	341	345	324	299	293	289	292	291	293
6級	289	300	265	231	244	246	245	239	246
計	4,383	4,513	4,293	4,127	4,231	4,209	4,218	4,207	4,312

※ H25年度に、喪失みなし者（手帳返還等の手続をしていないが、死亡等が確認された者）の登録削除を行ったため平成26年度の手帳所持者が減少している



## 2 知的障害のある人の状況

### (1) 療育手帳交付者数の推移（障害程度別）

平成27年の療育手帳交付者数は856人、令和2年の療育手帳交付数は998人です。

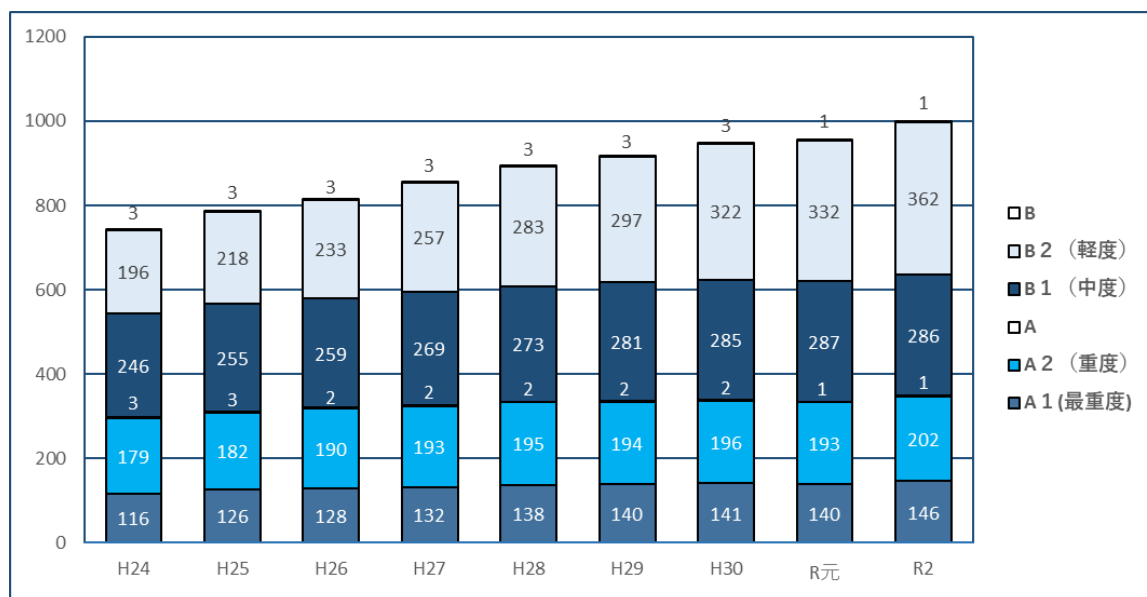
平成27年と令和2年の手帳交付者数を比較すると142人の増加で、16.6%の増となっています。

令和2年の総人口は115,839人で、手帳交付者は総人口の0.9%となっています。

令和2年における程度別では、A1（最重度）、A2（重度）、A（最重度及び重度）が349人、B1（中度）、B2（軽度）、B（中度、軽度）が649人であり、中軽度が手帳交付者全体の65.0%となっています。

療育手帳交付数の推移（障害程度別） 各年4月1日現在（単位：人）

障害程度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
A1（最重度）	116	126	128	132	138	140	141	140	146
A2（重度）	179	182	190	193	195	194	196	193	202
A	3	3	2	2	2	2	2	1	1
B1（中度）	246	255	259	269	273	281	285	287	286
B2（軽度）	196	218	233	257	283	297	322	332	362
B	3	3	3	3	3	3	3	1	1
計	743	787	815	856	894	917	949	954	998



### 3 精神障害のある人の状況

#### (1) 精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移（障害程度別）

平成27年の精神障害者保健福祉手帳交付者数は524人、令和2年の精神障害者保健福祉手帳交付者数は787人です。

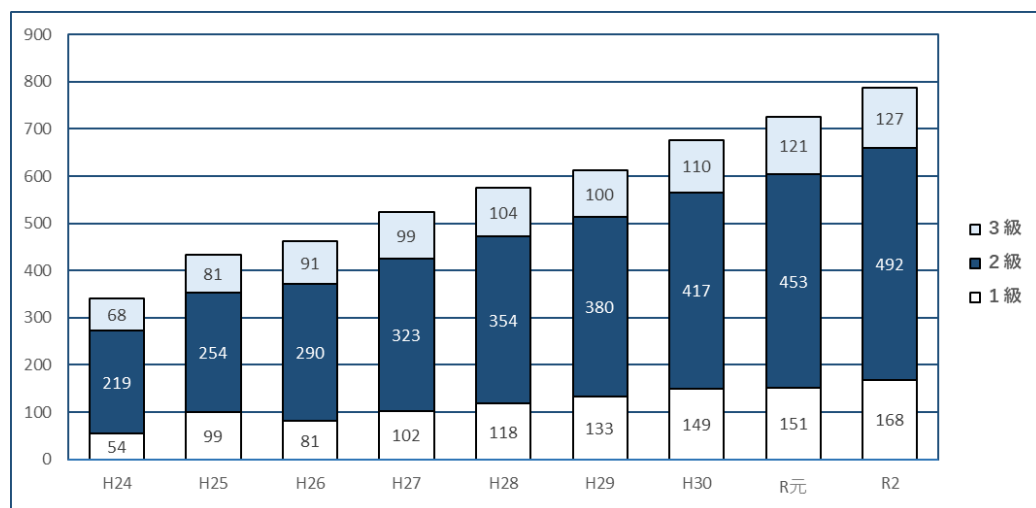
平成27年と令和2年の手帳交付者数を比較すると263人の増加で、50.2%の増となっています。

令和2年における自立支援医療（精神通院医療費公費負担）制度の利用者は1,434人で、そのうち精神障害者保健福祉手帳の交付を受けているのは、54.9%となっています。

令和2年の等級別では、2級が492人で最も多く、手帳交付者全体の62.5%となっています。

精神障害者保健福祉手帳交付数（障害程度別） 各年4月1日現在（単位：人）

障害程度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
1級	54	99	81	102	118	133	149	151	168
2級	219	254	290	323	354	380	417	453	492
3級	68	81	91	99	104	100	110	121	127
合計	341	434	462	524	576	613	676	725	787



自立支援医療費（精神通院医療）受給者数の推移 各年4月1日現在（単位：人）

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
受給者数	942	1,018	1,066	1,122	1,205	1,242	1,319	1,365	1,434

## 4. 障害者福祉に関するニーズ調査結果

### (1) 障害者福祉に関するニーズ調査の実施概要

#### ①調査目的

那須塩原市障害福祉計画の基礎資料として、障害のある人の実態把握を目的として実施しました。

#### ②調査対象

本市における障害のある人のうち、令和2年4月現在で、障害福祉サービス及び地域生活支援事業利用者、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者のうち2,800人を抽出しました。

#### ③調査時期

令和2年6月から令和2年7月

#### ④回収結果

回収数 1,387件

有効回収数 1,380件

有効回収率 49.3%

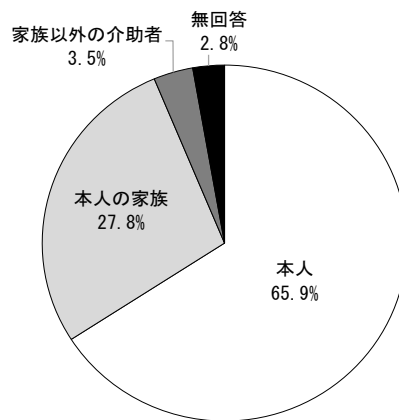
(2) 障害者福祉に関する実態調査の結果

1 あなた自身について（基本項目）

問1 お答えいただくのは、どなたですか。

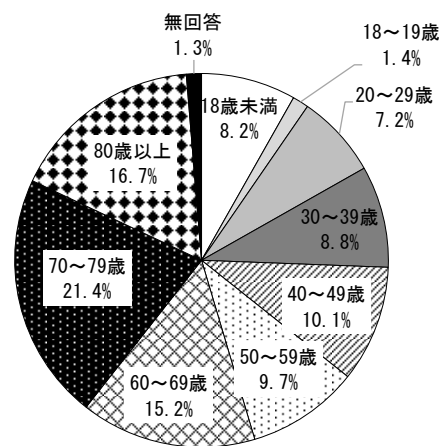
選択項目	人数	構成比
本人（この調査票が郵送された宛名の方）	909	65.9%
本人の家族	383	27.8%
家族以外の介助者	49	3.5%
無回答	39	2.8%

回答者の構成としては、本人が65.9%（909人）、本人の家族が27.8%（383人）で、本人と本人の家族を合わせると93.7%（1,292人）でした。また、家族以外の介助者を含めて有効回答は97.2%（1,341人）となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。（令和2年7月1日現在）

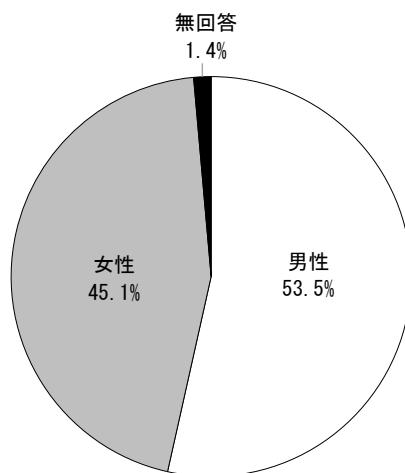
選択項目	人数	構成比
18歳未満	114	8.2%
18～19歳	19	1.4%
20～29歳	99	7.2%
30～39歳	121	8.8%
40～49歳	139	10.1%
50～59歳	134	9.7%
60～69歳	210	15.2%
70～79歳	295	21.4%
80歳以上	231	16.7%
無回答	18	1.3%



回答者の年齢は、「70歳から79歳」が21.4%（295人）、「80歳以上」が16.7%（231人）で「60歳から69歳」が15.2%（210人）で60歳以上の人が約53%を占めています。

**問3 あなたの性別をお答えください。**

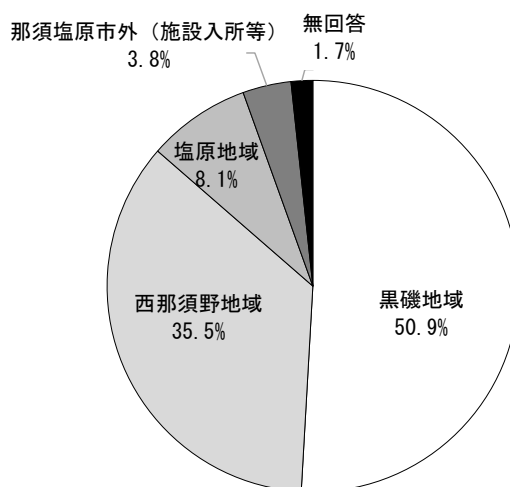
選択項目	人数	構成比
男性	739	53.5%
女性	622	45.1%
無回答	19	1.4%



性別は男性が53.5%（739人）女性が45.1%（622人）となっています。

**問4 あなたがお住まいの地域はどこですか？**

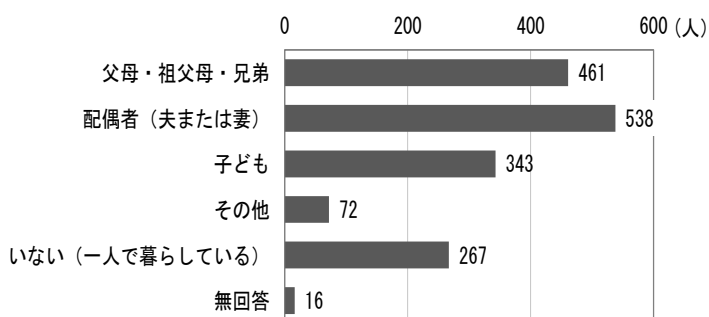
選択項目	人数	構成比
黒磯	702	50.9%
西那須野	490	35.5%
塩原	112	8.1%
那須塩原以外（施設入所等）	52	3.8%
無回答	24	1.7%



住まいは、黒磯地域が50.9%（702人）、西那須野地域が35.5%（490人）、塩原地域が8.1%（112人）、それ以外の地域が3.8%（52人）で、半数以上が黒磯地域となっています。

**問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか？（複数回答）**

選択項目	人数	構成比
父母・祖父母・兄弟	461	27.2%
配偶者（夫または妻）	538	31.7%
子ども	343	20.2%
その他	72	4.2%
いない（一人で暮らしている）	267	15.7%
無回答	16	1.0%

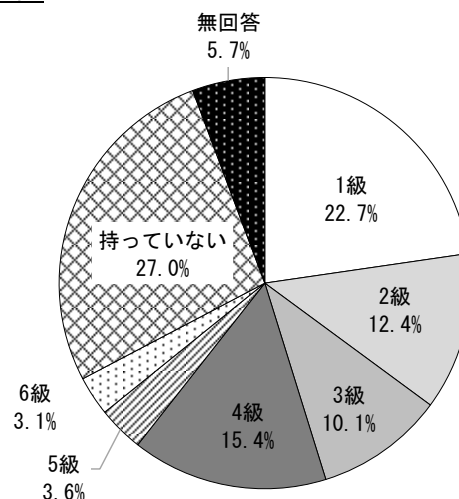




一緒に暮らしている人は、「配偶者（夫または妻）」が31.7%（538人）、  
「父母・祖父母・兄弟」が27.2%（461人）、「子ども」が20.2%（343人）、  
「いない（一人で暮らしている）」が15.7%（267人）となっています。

**問6 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。**

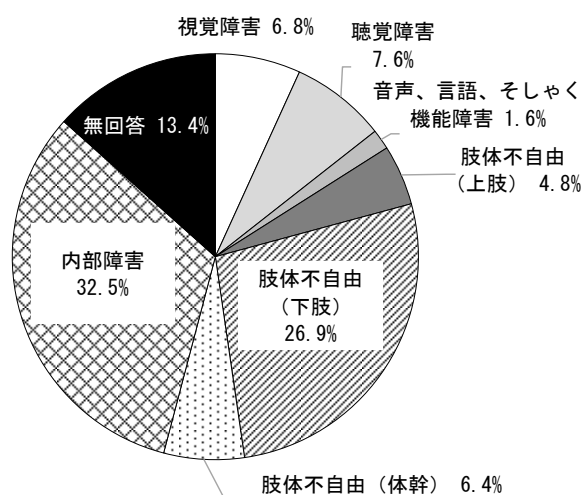
選択項目	人数	構成比
1級	314	22.7%
2級	171	12.4%
3級	139	10.1%
4級	212	15.4%
5級	50	3.6%
6級	43	3.1%
持っていない	372	27.0%
無回答	79	5.7%



身体障害者手帳を持っていると回答した方は、1,380人中929人です。「1級」が22.7%（314人）、「2級」が12.4%（171人）、「3級」が10.1%（139人）、「4級」が15.4%（212人）、「5級」が3.6%（50人）、「6級」が3.1%（43人）となっています。

**問7 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。**

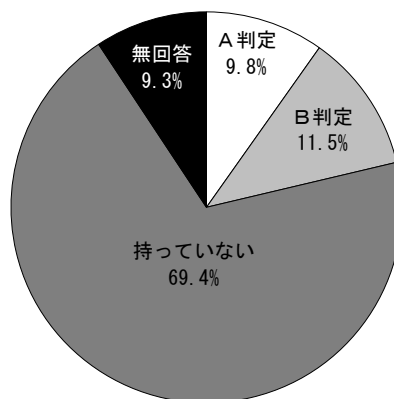
選択項目	人数	構成比
視覚障害	63	6.8%
聴覚障害	71	7.6%
音声・言語・そしゃく機能障害	15	1.6%
肢体不自由（上肢）	45	4.8%
肢体不自由（下肢）	250	26.9%
肢体不自由（体幹）	59	6.4%
内部障害 ※上記障害以外	302	32.5%
無回答	124	13.4%



身体障害者手帳を持っていると回答した方の主たる障害は、「肢体不自由（下肢）」が26.9%（250人）次いで、「聴覚障害」が7.6%（71人）、「視覚障害」が6.8%（63人）となっています。

**問8 あなたは療育手帳をお持ちですか。**

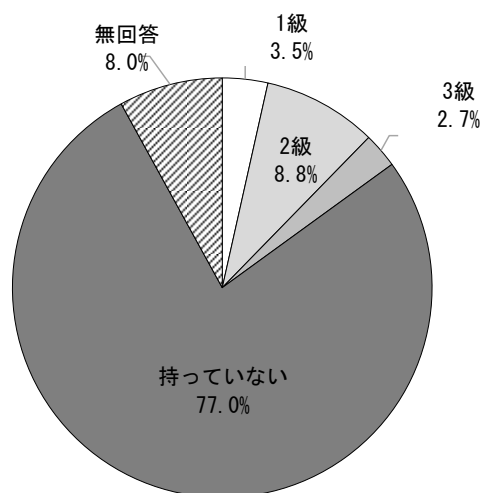
選択項目	人数	構成比
A判定	135	9.8%
B判定	158	11.5%
持っていない	958	69.4%
無回答	129	9.3%



療育手帳を持っていると回答した方は、「B判定」が11.5%（158人）、「A判定」9.8%（135人）となり、1,380人中21.3%（293人）を占めています。

**問9 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。**

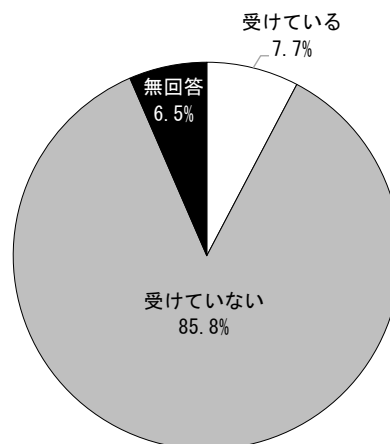
選択項目	人数	構成比
1級	48	3.5%
2級	121	8.8%
3級	38	2.7%
持っていない	1,063	77.0%
無回答	110	8.0%



精神障害者保健福祉手帳を持っていると回答した方は、「1級」が3.5%（48人）、「2級」が8.8%（121人）、「3級」が2.7%（38人）となり、1,380人中15.0%（207人）を占めています。

**問 10 あなたは難病（特定疾患等）の認定を受けていますか。**

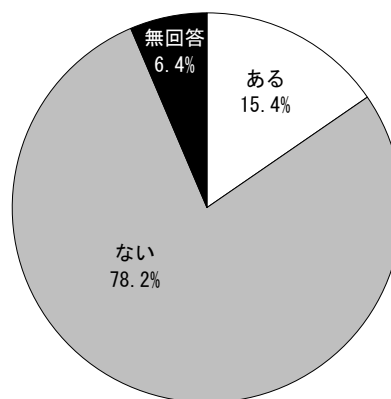
選択項目	人数	構成比
受けている	106	7.7%
受けていない	1,184	85.8%
無回答	90	6.5%



難病（特定疾患等）の認定を受けていると回答した方は、1,380人中7.7%（106人）となっています。

**問 11 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。**

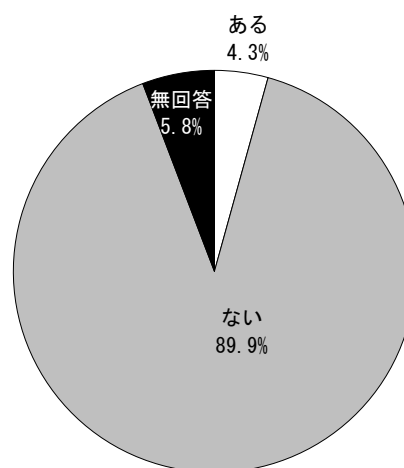
選択項目	人数	構成比
ある	212	15.4%
ない	1,079	78.2%
無回答	89	6.4%



発達障害として診断されたことがあると回答した方は、1,380人中15.4%（212人）となっています。

**問 12 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。**

選択項目	人数	構成比
ある	60	4.3%
ない	1,240	89.9%
無回答	80	5.8%

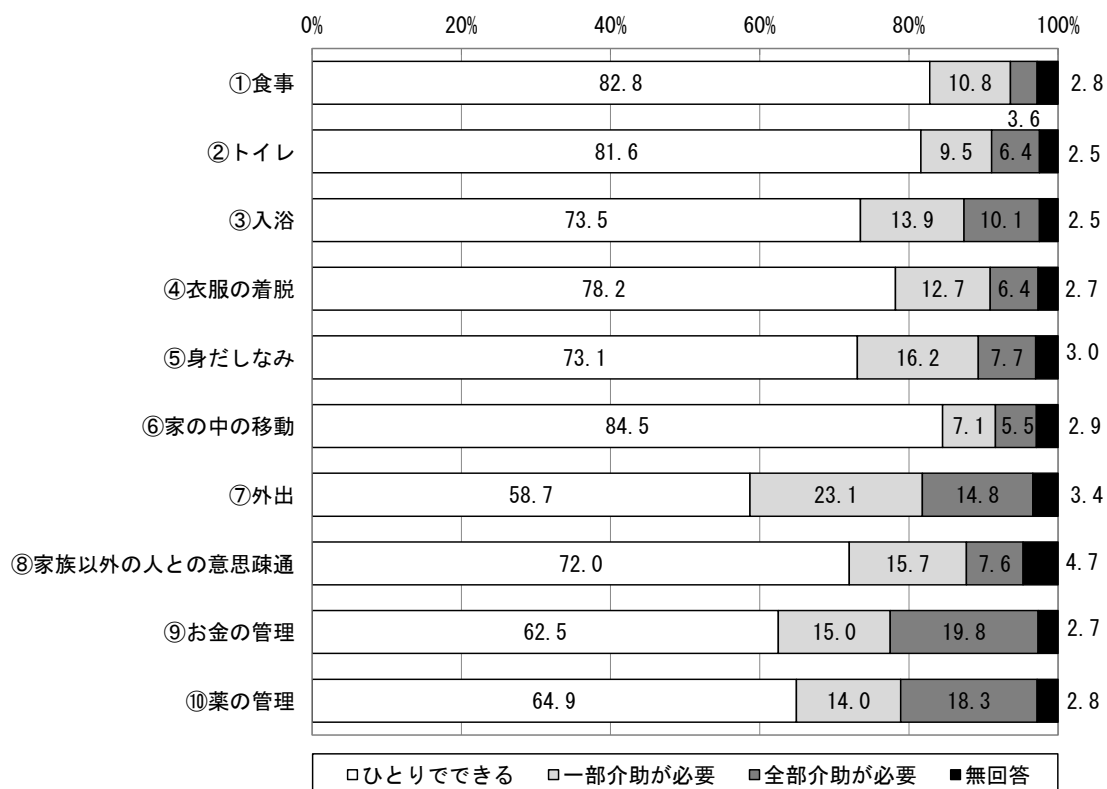


高次脳機能障害として診断されたことがあると回答した方は、1,380人中4.3%（60人）となっています。

## 2 日常生活について

問13 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

選択項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
食事	1,142	149	50	39
トイレ	1,126	131	89	34
入浴	1,015	192	139	34
衣服の着脱	1,080	175	88	37
身だしなみ	1,009	223	107	41
家の中の移動	1,166	98	76	40
外出	810	319	204	47
家族以外の人との意思疎通	994	217	105	64
お金の管理	862	207	273	38
薬の管理	896	193	252	39

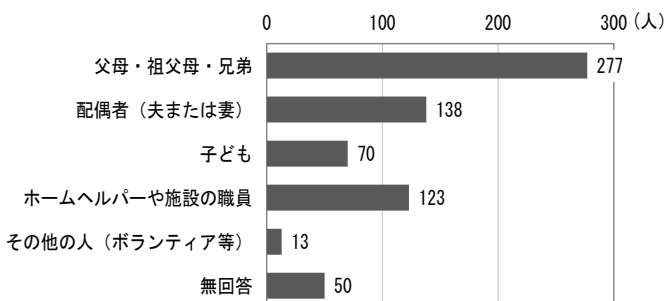


日常生活の質問全 10 項目について、「ひとりでできる」、「一部介助が必要」、「全部介助が必要」の割合は順に 73.2%、13.8%、10.0%の割合となっています。

**問 1 4 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（問 1 3 で「一部介助が必要」、  
「全部介助が必要」を選択した場合にお答えください。）**

(複数回答)

選択項目	人数	構成比
父母・祖父母・兄弟	277	41.3%
配偶者（夫または妻）	138	20.6%
子ども	70	10.4%
ホームヘルパーや施設の職員	123	18.3%
その他の人（ボランティア等）	13	1.9%
無回答	50	7.5%

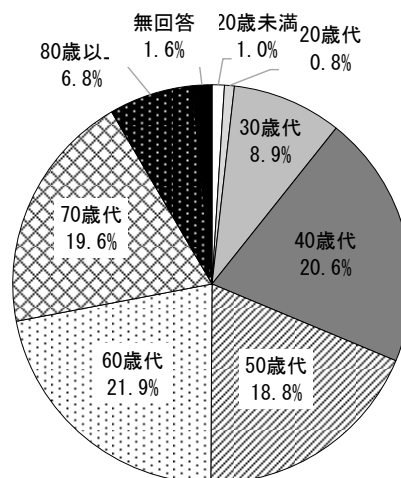


主な介助者については「父母・祖父母・兄弟」が41.3%（277人）、次いで「配偶者（夫または妻）」が20.6%（138人）、「ホームヘルパーや施設の職員」が18.3%（123人）となっています。

**問 1 5 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。（問 1 4 で「父母・祖父母・兄弟」、「配偶者（夫または妻）」、「子どもを答えた方」を選択した場合にお答えください。）**

① 年齢（令和2年7月1日現在）

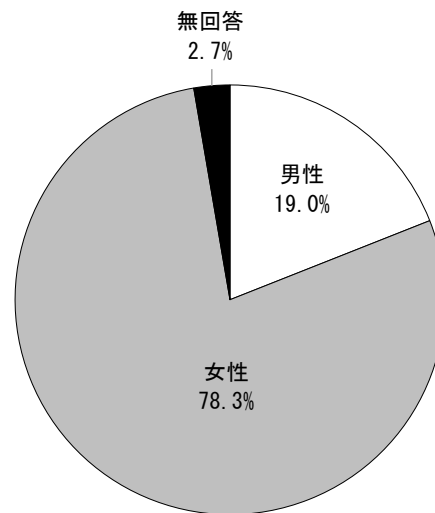
選択項目	人数	構成比
20歳未満	5	1.0%
20～29歳	4	0.8%
30～39歳	43	8.9%
40～49歳	100	20.6%
50～59歳	91	18.8%
60～69歳	106	21.9%
70～79歳	95	19.6%
80歳以上	33	6.8%
無回答	8	1.6%



主な介助者の年齢としては、「60～69歳」が21.9%（106人）、「70～79歳」が19.6%（95人）、「80歳以上」が6.8%（33人）で60歳以上の人が約48%を占めています。

## ②性別

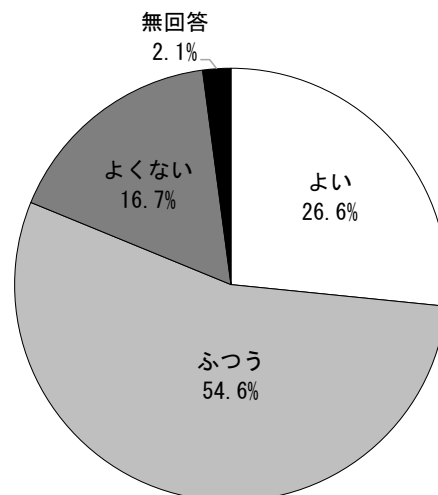
選択項目	人数	構成比
男性	92	19.0%
女性	380	78.3%
無回答	13	2.7%



主な介助者の性別は、男性が19.0%（92人）、女性が78.3%（380人）となっており、女性が7割超を占めています。

## ③健康状態

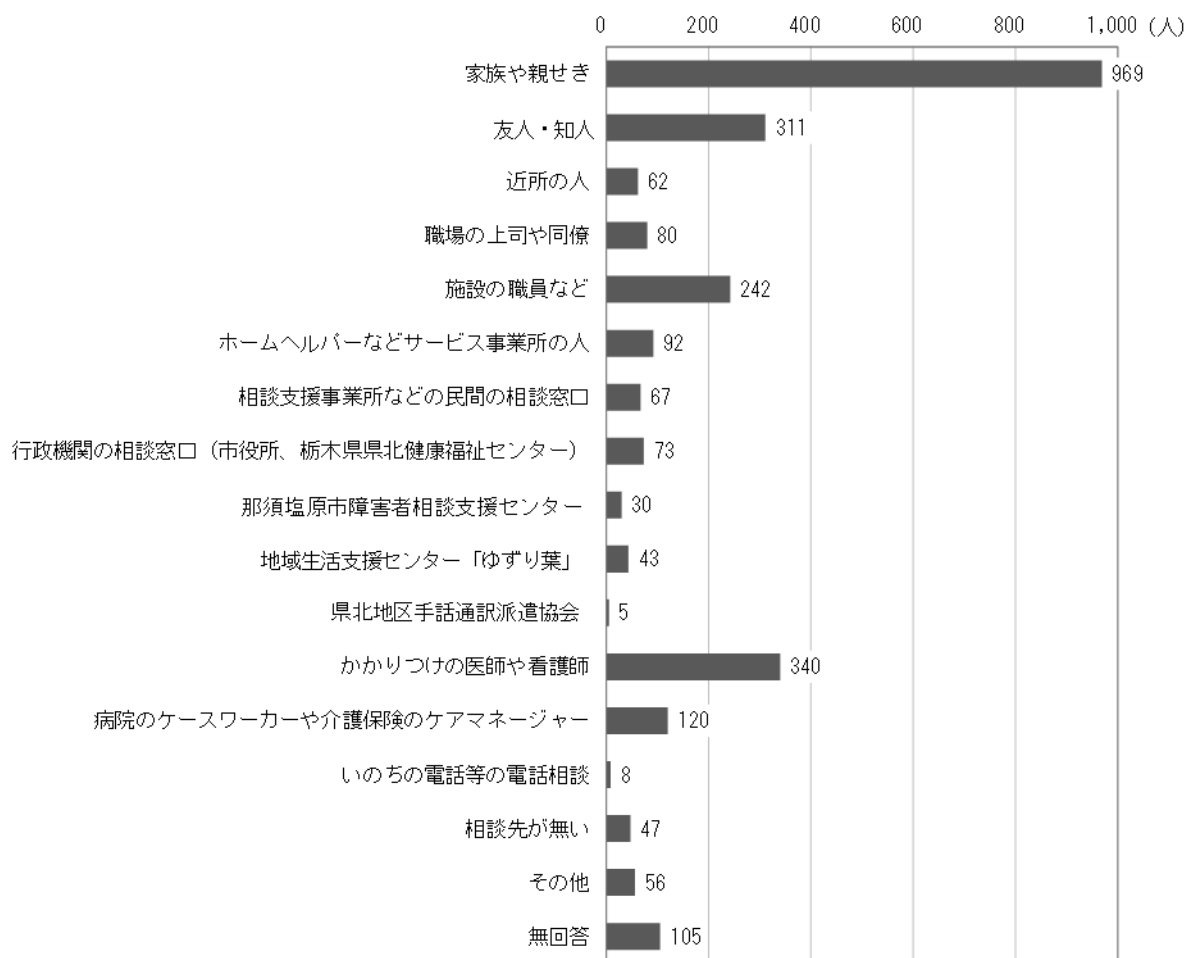
選択項目	人数	構成比
よい	129	26.6%
ふつう	265	54.6%
よくない	81	16.7%
無回答	10	2.1%



主な介助者の健康状態は、「ふつう」が54.6%（265人）、次いで「よい」が26.6%（129人）で、約8割を占めています。また、「よくない」と答えた方は16.7%（81人）となっています。

**問 1 6 あなたは、普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談しますか。**  
(複数回答)

選択項目	人数	構成比
家族や親せき	969	36.6%
友人・知人	311	11.7%
近所の人	62	2.4%
職場の上司や同僚	80	3.0%
施設の職員など	242	9.1%
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	92	3.5%
相談支援事業所などの民間の相談窓口	67	2.5%
行政機関の相談窓口（市役所、栃木県県北健康福祉センター）	73	2.8%
那須塩原市障害者相談支援センター	30	1.1%
地域生活支援センター「ゆずり葉」	43	1.6%
県北手話通訳派遣協会	5	0.2%
かかりつけの医師や看護師	340	12.8%
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	120	4.5%
いのちの電話等の電話相談	8	0.3%
相談先が無い	47	1.8%
その他	56	2.1%
無回答	105	4.0%

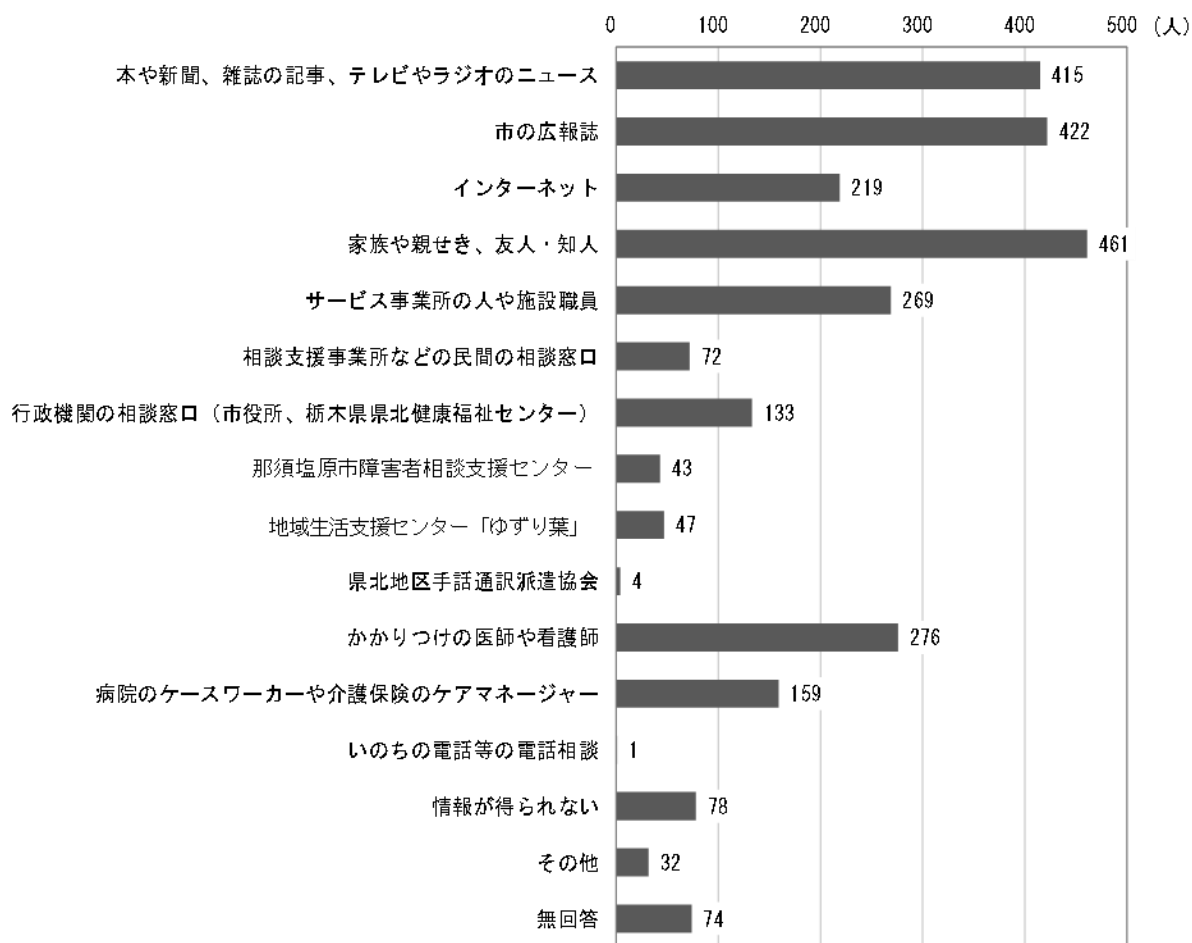


普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談するかは、「家族や親せき」が36.6% (969人)、「かかりつけの医師や看護師」が12.8% (340人)、「友人・知人」が11.7% (311人)、「施設の職員など」が9.1% (242人)の順に高くなっています。



**問17 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(複数回答)**

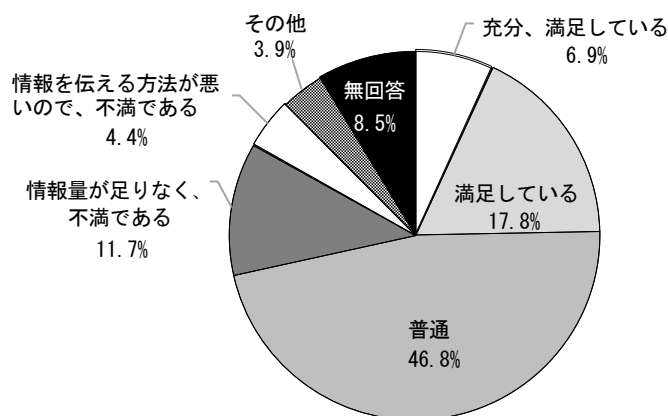
選択項目	人数	構成比
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	415	15.3%
広報なすしおばらなどの広報誌	422	15.6%
インターネット	219	8.1%
家族や親せき、友人・知人	461	17.0%
サービス事業所の人や施設職員	269	9.9%
相談支援事業所などの民間の相談窓口	72	2.7%
行政機関の相談窓口（市役所、栃木県県北健康福祉センター）	133	4.9%
那須塩原市障害者相談支援センター	43	1.6%
地域生活支援センター「ゆずり葉」	47	1.7%
県北手話通訳派遣協会	4	0.2%
かかりつけの医師や看護師	276	10.2%
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	159	5.9%
いのちの電話等の電話相談	1	0.1%
情報が得られない	78	2.9%
その他	32	1.2%
無回答	74	2.7%



障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いかについては、「家族や親せき、友人・知人」が17.0% (461人)、「広報なすしおぼらなどの広報誌」が15.6% (422人)、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が15.3% (415人)の順に高くなっています。

**問 18 あなたが現在得ている障害者（児）に対する福祉サービスの情報の満足度は  
 どうか。**

選択項目	人数	構成比
充分、満足している	95	6.9%
満足している	246	17.8%
普通	646	46.8%
情報量が足りなく、不満である	162	11.7%
情報を伝える方法が悪いので、不満である	61	4.4%
その他	53	3.9%
無回答	117	8.5%

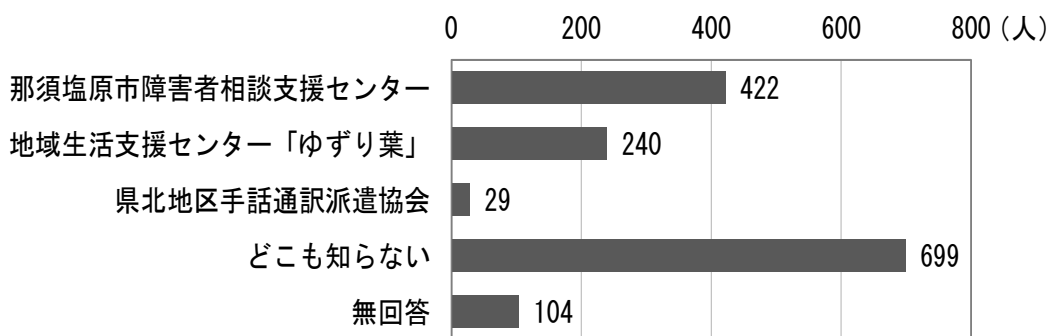


現在得ている障害者（児）に対する福祉サービスの情報の満足度は、「普通」が46.8%（646人）、「満足している」が17.8%（246人）、「充分、満足している」が6.9%（95人）となっており、特に不満がない人が71.5%を占めています。

対して、「情報量が足りなく、不満である」が11.7%（162人）、「情報を伝える方法が悪いので、不満である」が4.4%（61人）で、何らかの不満がある人が16.1%（223人）となりました。

**問 1 9 市が障害者向けの相談窓口を用意しているのを知っていますか（複数回答）**

選択項目	人数	構成比
那須塩原市障害者相談支援センター	422	28.2%
地域生活支援センター「ゆずり葉」	240	16.1%
県北手話通訳派遣協会	29	1.9%
どこも知らない	699	46.8%
無回答	104	7.0%

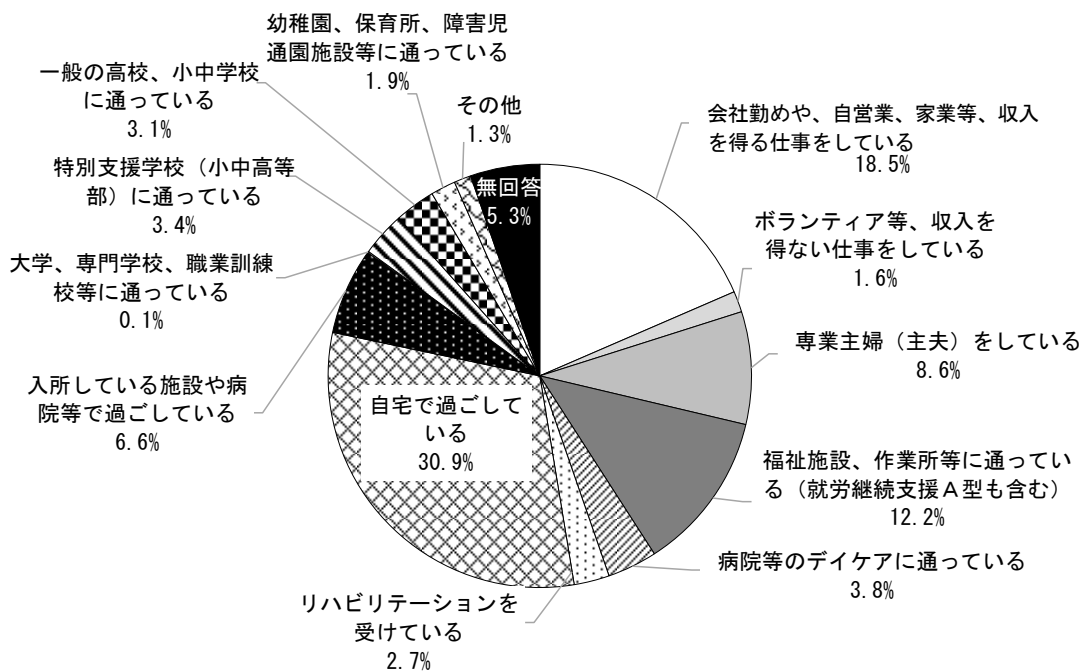


市が障害者向けの相談窓口を用意しているのを知っているかについては、「那須塩原市障害者相談支援センター」が28.2%（422人）、「地域生活支援センター「ゆずり葉」」が16.1%（240人）、「県北手話通訳派遣協会」1.9%（29人）となり、46.2%（691人）の方が知っていました。対して、「どこも知らない」と答えた方が46.8%（699人）を占めています。

### 3 生活をしていくうえで必要な支援（サービス）について

#### 問20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

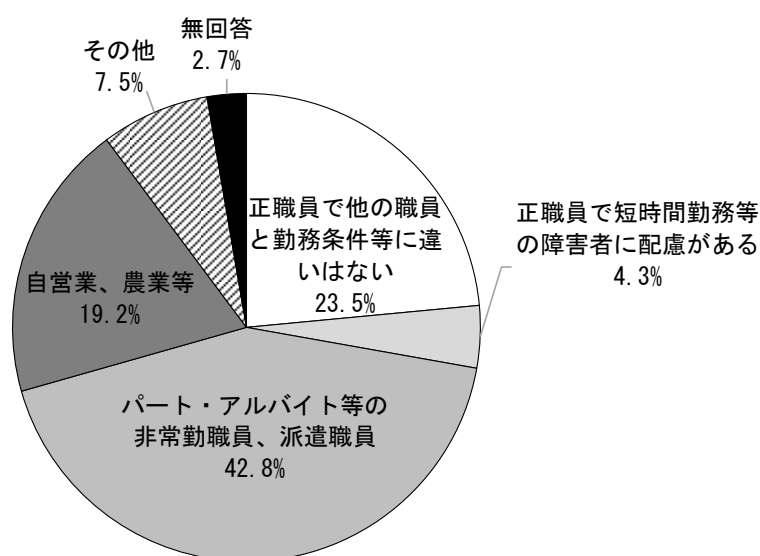
選択項目	人数	構成比
会社勤めや、自営業、家業等、収入を得る仕事をしている	255	18.5%
ボランティア等、収入を得ない仕事をしている	22	1.6%
専業主婦（主夫）をしている	119	8.6%
福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）	168	12.2%
病院等のデイケアに通っている	52	3.8%
リハビリテーションを受けている	37	2.7%
自宅で過ごしている	427	30.9%
入所している施設や病院等で過ごしている	92	6.6%
大学、専門学校、職業訓練校等に通っている	1	0.1%
特別支援学校（小中高等部）に通っている	47	3.4%
一般の高校、小中学校に通っている	43	3.1%
幼稚園、保育所、障害児通園施設等に通っている	26	1.9%
その他	18	1.3%
無回答	73	5.3%



平日の日中を主にどのように過ごしているかは、「自宅で過ごしている」が30.9%（427人）、「会社勤めや、自営業、家業等、収入を得る仕事をしている」が、18.5%（255人）となっています。

**問 2 1 あなたは、どのような勤務形態で働いていますか。（問 2 0 で「会社勤めや、自営業、家業等、収入を得る仕事をしている」を選択した場合にお答えください。）**

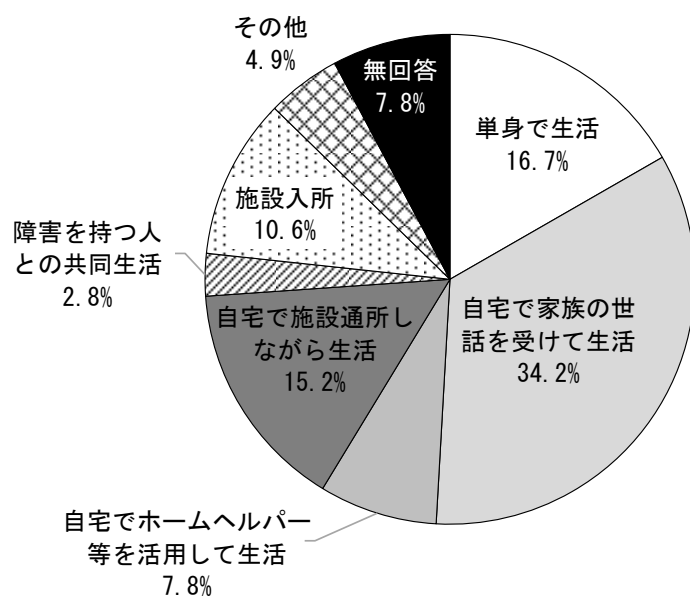
選択項目	人数	構成比
正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	60	23.5%
正職員で短時間勤務等の障害者配慮がある	11	4.3%
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	109	42.8%
自営業、農林水産業等	49	19.2%
その他	19	7.5%
無回答	7	2.7%



どのような勤務形態で働いているかは、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が42.8%（109人）、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が23.5%（60人）となっています。

問 2 2 あなたは、今後どこでどのように生活したいですか。

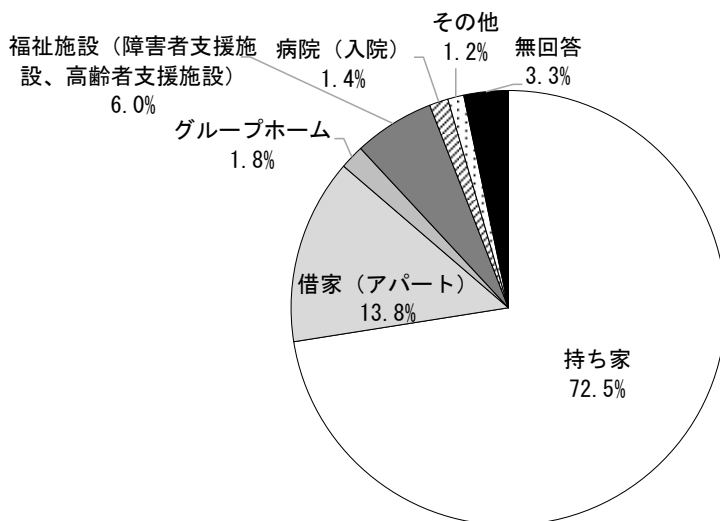
選択項目	人数	構成比
単身で生活	230	16.7%
自宅で家族の世話を受けて生活	471	34.2%
自宅でホームヘルパー等を活用して生活	108	7.8%
自宅で施設通所しながら生活	210	15.2%
障害を持つ人との共同生活	39	2.8%
施設入所	146	10.6%
その他	68	4.9%
無回答	108	7.8%



今後どこでどのように生活したいかは、「自宅で家族の世話を受けて生活」が34.2%（471人）、次いで「単身で生活」が16.7%（230人）となっています。

**問 2 3 あなたは現在どのような住まいで暮らしていますか。**

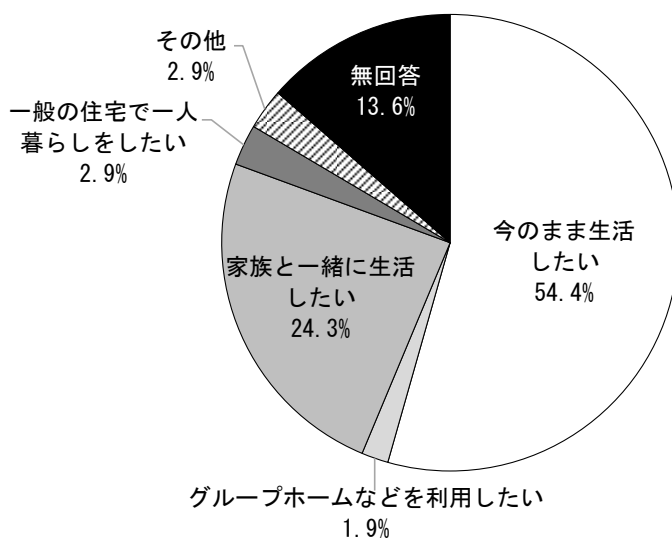
選択項目	人数	構成比
持ち家	1,001	72.5%
借家（アパート）	190	13.8%
グループホーム	25	1.8%
福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）	83	6.0%
病院（入院）	20	1.4%
その他	16	1.2%
無回答	45	3.3%



現在の住まいは、「持ち家」72.5%（1,001人）と「借家（アパート）」13.8%（190人）を含めると自宅に住んでいる方は、8割を超えています。

**問 2 4 あなたは将来、地域で生活したいと思いませんか。（問 2 3 で「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）」、「病院（入院）」を選択した場合にお答えください。）**

選択項目	人数	構成比
今のまま生活したい	56	54.4%
グループホームなどを利用したい	2	1.9%
家族と一緒に生活したい	25	24.3%
一般の住宅で一人暮らしをしたい	3	2.9%
その他	3	2.9%
無回答	14	13.6%

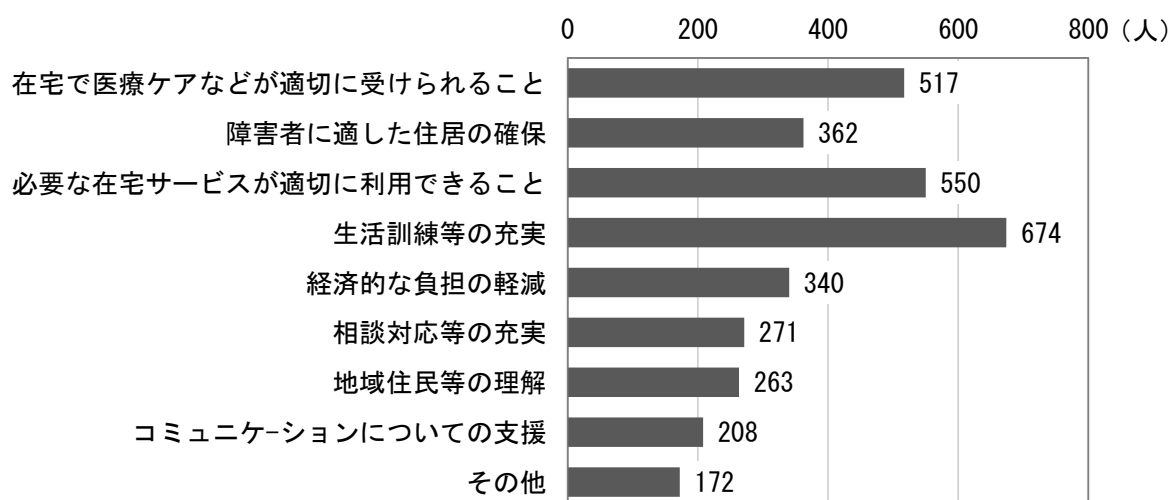


現在、福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で生活している方及び入院中の方のうち、今後の生活について、「今のまま生活したい」が54.4%（56人）となっており、次いで「家族と一緒に生活したい」が24.3%（25人）、「グループホームなどを利用したい」が1.9%（2人）、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が2.9%（3人）となり、生活の場を変えたいと思っている人が、29.1%（30人）となっています。



**問 2 5 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。**  
(複数回答)

選択項目	人数	構成比
在宅で医療ケアなどが適切に受けられること	517	15.4%
障害者に適した住居の確保	362	10.8%
必要な在宅サービスが適切に利用できること	550	16.4%
生活訓練等の充実	674	20.1%
経済的な負担の軽減	340	10.1%
相談対応等の充実	271	8.1%
地域住民等の理解	263	7.8%
コミュニケーションについての支援	208	6.2%
その他	172	5.1%

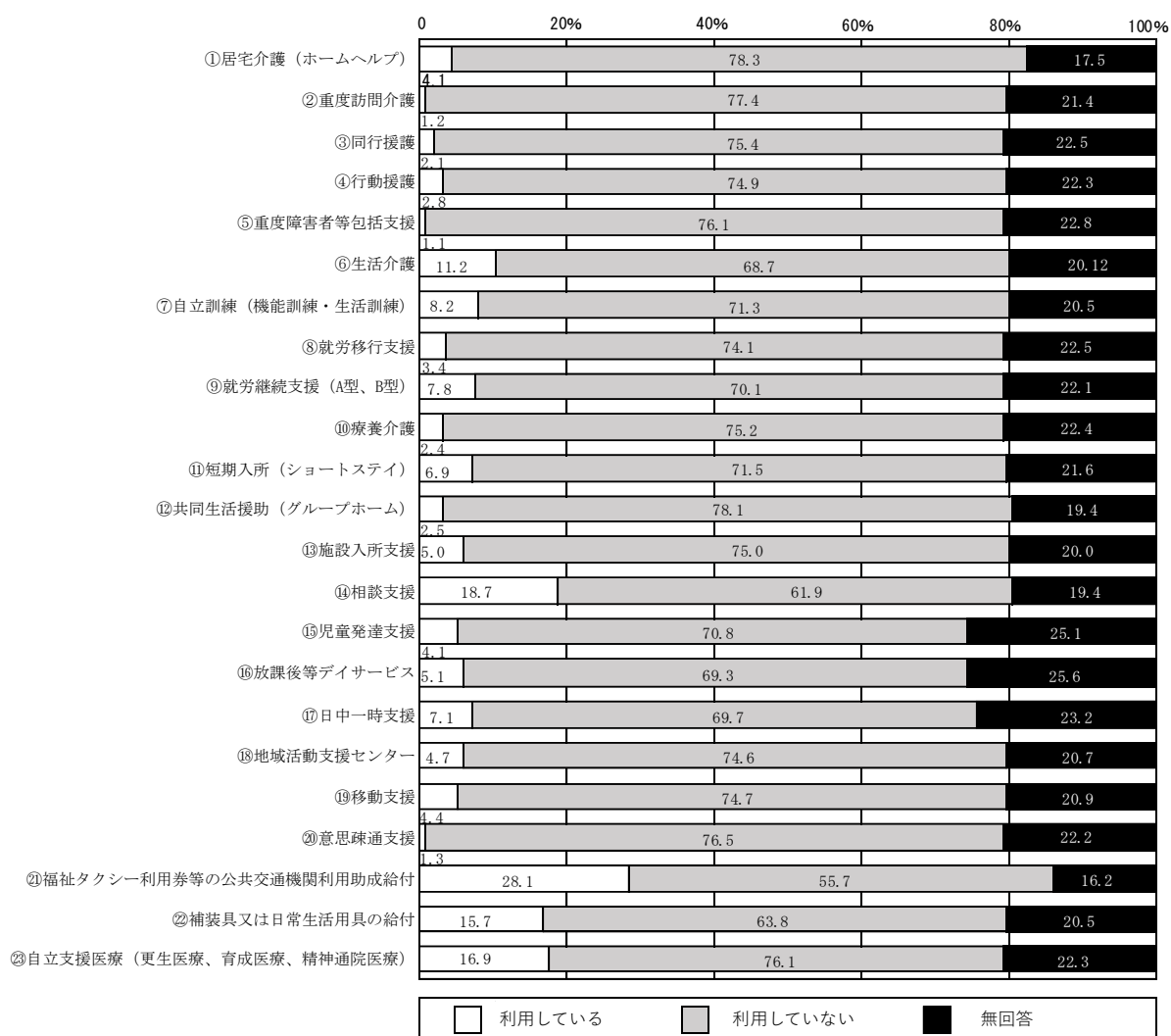


地域で生活するために必要な支援は、「生活訓練等の充実」が20.1%（674人）次いで、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が16.4%（550人）、「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」が15.4%（517人）となっています。

**問26 あなたは次のサービスを利用していますか。また今後利用したいと考えますか。(複数回答)**

(1) 現在利用しているか

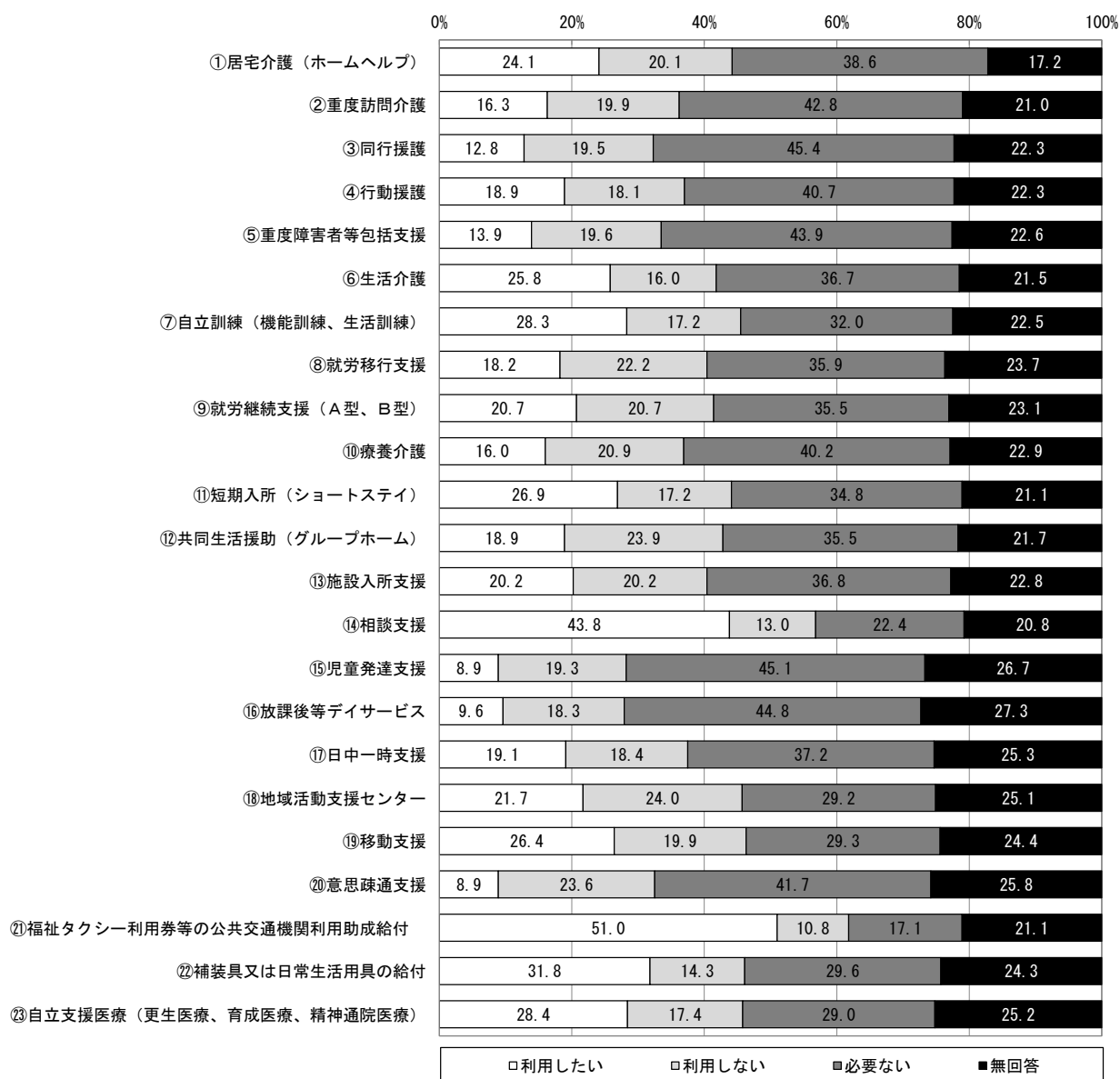
選択項目	現在利用しているか		
	利用している	利用していない	無回答
① 居宅介護（ホームヘルプ）	57	1081	242
② 重度訪問介護	17	1068	295
③ 同行援護	29	1041	310
④ 行動援護	39	1033	308
⑤ 重度障害者等包括支援	15	1050	315
⑥ 生活介護	154	948	278
⑦ 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	113	984	283
⑧ 就労移行支援	47	1023	310
⑨ 就労継続支援（A型、B型）	107	968	305
⑩ 療養介護	33	1038	309
⑪ 短期入所（ショートステイ）	95	987	298
⑫ 共同生活援助（グループホーム）	34	1078	268
⑬ 施設入所支援	69	1035	276
⑭ 相談支援	258	854	268
⑮ 児童発達支援	57	977	346
⑯ 放課後等デイサービス	71	956	353
⑰ 日中一時支援	98	962	320
⑱ 地域活動支援センター	65	1029	286
⑲ 移動支援	61	1031	288
⑳ 意思疎通支援	18	1056	306
㉑ 福祉タクシー利用券等の公共交通機関利用助成給付	388	768	224
㉒ 補装具又は日常生活用具の給付	217	880	283
㉓ 自立支援医療（更生医療、育成医療、精神通院医療）	233	839	308



サービスの利用は、「㉑福祉タクシー利用券等の公共交通機関利用助成給付」が28.1% (388人)、「㉒補装具又は日常生活用具の給付」が15.7% (211人)、「㉓自立支援医療」が16.9% (233人)の順に高くなっています。

## (2) 今後利用したいか

選択項目	今後利用したいか			
	利用したい	利用しない	必要ない	無回答
① 居宅介護（ホームヘルプ）	332	278	533	237
② 重度訪問介護	225	274	591	290
③ 同行援護	177	269	627	307
④ 行動援護	261	250	561	308
⑤ 重度障害者等包括支援	192	271	605	312
⑥ 生活介護	356	221	507	296
⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練）	390	237	442	311
⑧ 就労移行支援	252	306	495	327
⑨ 就労継続支援（A型、B型）	286	285	490	319
⑩ 療養介護	221	289	554	316
⑪ 短期入所（ショートステイ）	371	238	480	291
⑫ 共同生活援助（グループホーム）	261	329	490	300
⑬ 施設入所支援	278	279	508	315
⑭ 相談支援	604	179	310	287
⑮ 児童発達支援	123	266	622	369
⑯ 放課後等デイサービス	132	253	618	377
⑰ 日中一時支援	263	254	514	349
⑱ 地域活動支援センター	300	331	403	346
⑲ 移動支援	364	274	405	337
⑳ 意思疎通支援	123	326	575	356
㉑ 福祉タクシー利用券等の公共交通機関利用助成給付	704	149	236	291
㉒ 補装具又は日常生活用具の給付	439	198	408	335
㉓ 自立支援医療（更生医療、育成医療、精神通院医療）	392	240	400	348

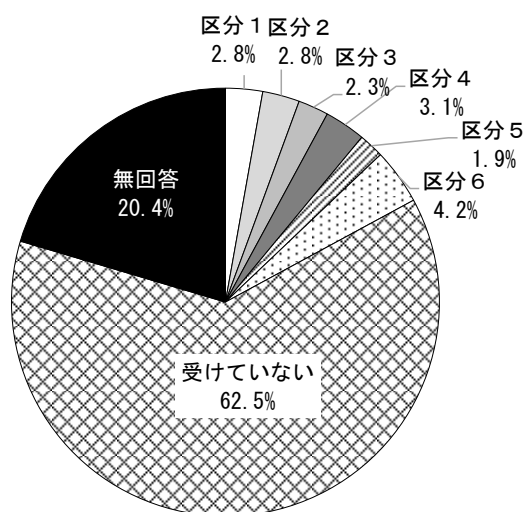


今後のサービスの利用希望は、「㉑福祉タクシー利用券等の公共交通機関利用助成給付」が51.0%（704人）、「㉒補装具又は日常生活用具の給付」が31.8%（439人）の順に高くなっています。

#### 4 生活環境の整備について

##### 問 27 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

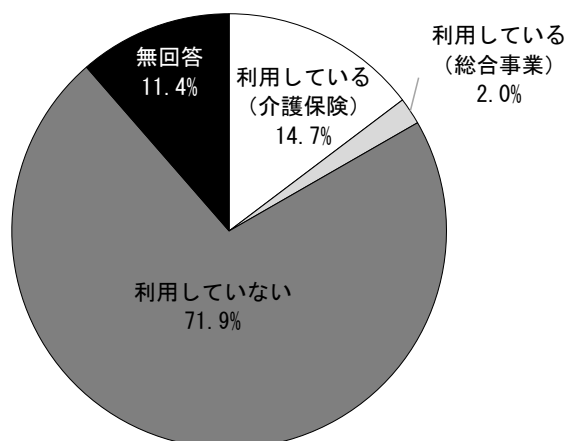
選択項目	人数	構成比
区分1	39	2.8%
区分2	39	2.8%
区分3	32	2.3%
区分4	43	3.1%
区分5	26	1.9%
区分6	58	4.2%
受けていない	862	62.5%
無回答	281	20.4%



障害支援区分の認定を受けていると回答した方は、「区分1」が2.8%（39人）、「区分2」が2.8%（39人）、「区分3」が2.3%（32人）、「区分4」が3.1%（43人）、「区分5」が1.9%（26人）、「区分6」が4.2%（58人）となり、いずれかの区分認定を受けている方は、1,380人中、17.1%（237人）となっています。

##### 問 28 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

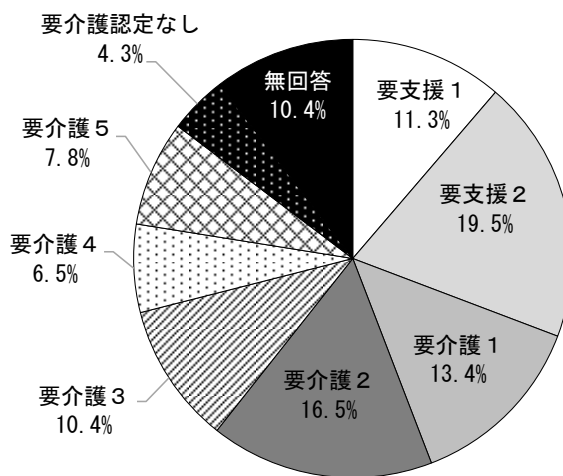
選択項目	人数	構成比
利用している (介護保険)	203	14.7%
利用している (総合事業)	28	2.0%
利用していない	992	71.9%
無回答	157	11.4%



介護保険によるサービスを利用していると回答した方は、1,380人中、16.7%（231人）となっています。

**問 29 該当する要介護度はどれですか。（問 28 で、「利用している」を選択した場合にお答えください。）**

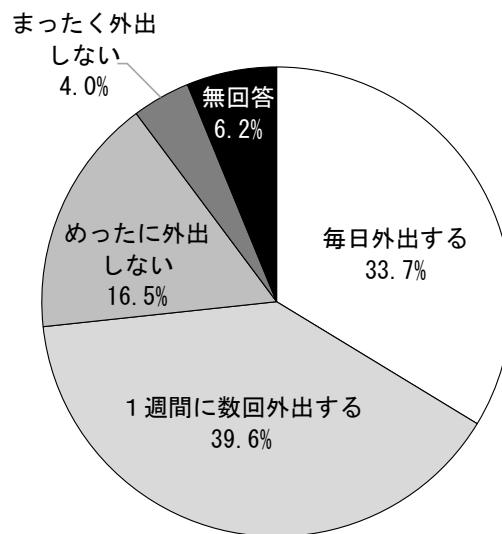
選択項目	人数	構成比
要支援 1	26	11.3%
要支援 2	45	19.5%
要介護 1	31	13.4%
要介護 2	38	16.5%
要介護 3	24	10.4%
要介護 4	15	6.5%
要介護 5	18	7.8%
要介護認定なし	10	4.3%
無回答	24	10.4%



該当する要介護度は、「要支援 2」が 19.5%（45 人）、「要介護 2」が 16.5%（38 人）、「要介護 1」が 13.4%（31 人）の順に高くなっています。

**問 30 あなたは、1 週間にどの程度外出しますか。**

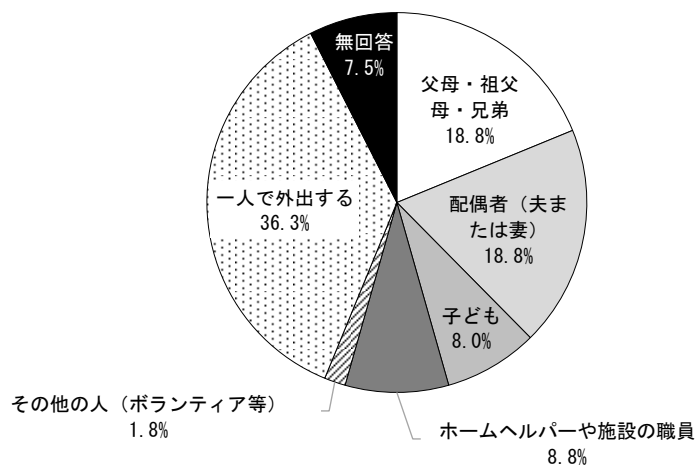
選択項目	人数	構成比
毎日外出する	465	33.7%
1 週間に数回外出する	546	39.6%
めったに外出しない	229	16.5%
全く外出しない	55	4.0%
無回答	85	6.2%



1 週間にどの程度外出するかは、「毎日外出する」が 33.7%（465 人）、「1 週間に数回外出する」が 39.6%（546 人）となっており、よく外出される方は 73.3%（1,011 人）となっています。

**問 3 1 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。（問 3 0 で、「毎日外出する」、「一週間に数回外出する」、「めったに外出しない」を選択した場合にお答えください。）**

選択項目	人数	構成比
父母・祖父母・兄弟	233	18.8%
配偶者（夫または妻）	233	18.8%
子ども	99	8.0%
ホームヘルパーや施設の職員	109	8.8%
その他の人（ボランティア等）	22	1.8%
一人で外出する	451	36.3%
無回答	93	7.5%

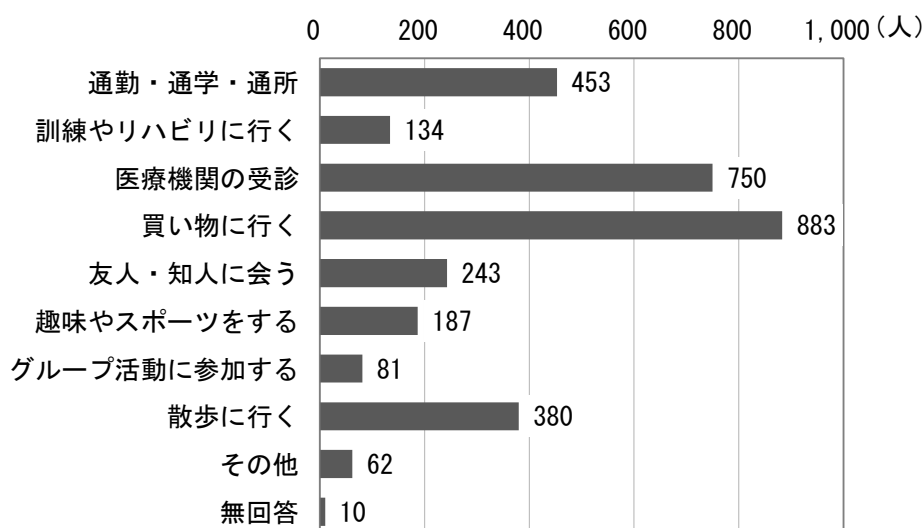


外出する際の主な同伴者は、「父母・祖父母・兄弟」と「配偶者（夫または妻）」がともに 18.8%（233 人）、「子ども」が 8.0%（99 人）となり、家族が 45.6%（565 人）を占めています。また、「一人で外出する」が 36.3%（451 人）となっています。

**問 3 2 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（問 3 0 で、「毎日外出する」、「一週間に数回外出する」、「めったに外出しない」を選択した場合にお答えください。）（複数回答）**

選択項目	人数	構成比
通勤・通学・通所	453	14.2%
訓練やリハビリに行く	134	4.2%
医療機関の受診	750	23.6%
買い物に行く	883	27.7%
友人・知人に会う	243	7.6%
趣味やスポーツをする	187	5.9%
グループ活動に参加する	81	2.6%
散歩に行く	380	11.9%
その他	62	2.0%
無回答	10	0.3%

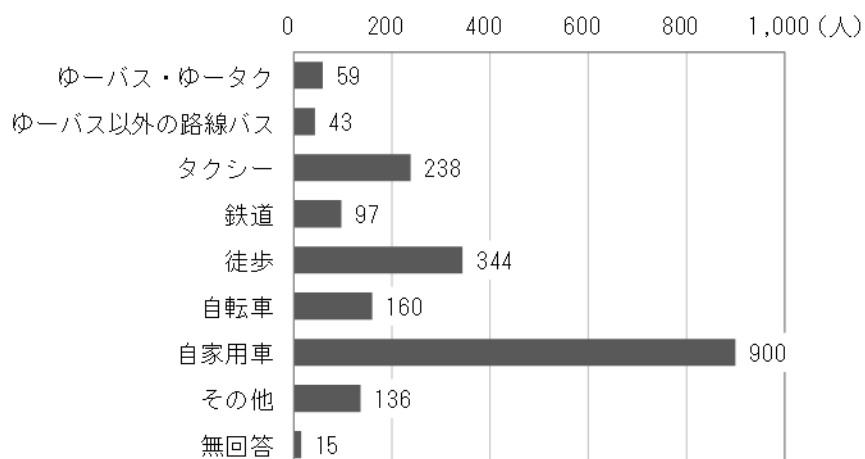




どのような目的で外出するかは、「買い物に行く」が27.7%（883人）、次いで「医療機関の受診」が23.6%（750人）、「通勤・通学・通所」が14.2%（453人）の順に高くなっています。

**問33 あなたは、どのような手段で外出することが多いですか。（問30で、「毎日外出する」、「一週間に数回外出する」、「めったに外出しない」を選択した場合にお答えください。）**（複数回答）

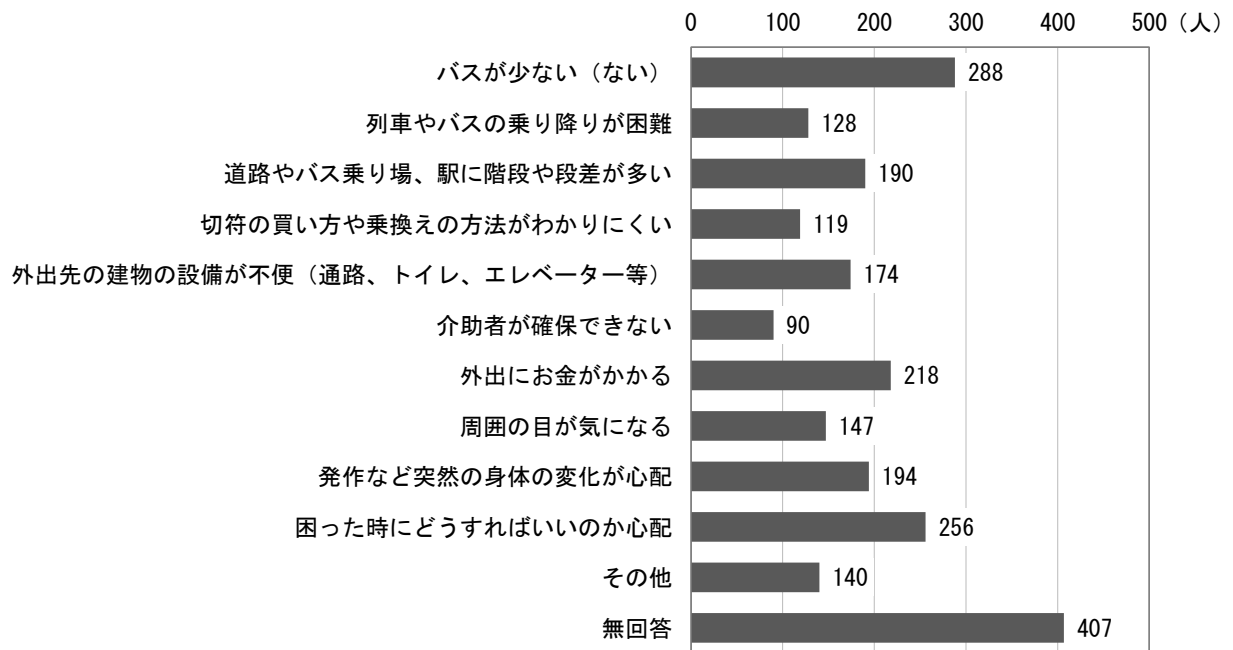
選択項目	人数	構成比
ゆーバス・ゆータク	59	3.0%
ゆーバス以外の路線バス	43	2.2%
タクシー	238	11.9%
鉄道	97	4.9%
徒歩	344	17.3%
自転車	160	8.0%
自家用車	900	45.2%
その他	136	6.8%
無回答	15	0.7%



どのような手段で外出するかは、「自家用車」が45.5%（900人）、「徒歩」が17.4%（344人）、「タクシー」が12.0%（238人）の順に高くなっています。

**問34 外出する時に困ること（又は外出しない理由）は何ですか。（複数回答）**

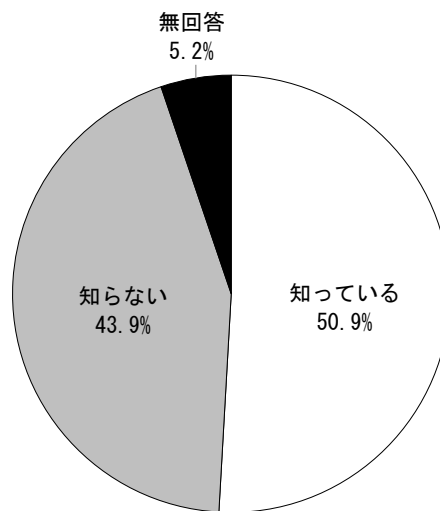
選択項目	人数	構成比
バスが少ない（ない）	288	12.3%
列車やバスの乗り降りが困難	128	5.4%
道路やバス乗り場、駅に階段や段差が多い	190	8.1%
切符の買い方や乗換えの方法がわからない	119	5.1%
外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	174	7.4%
介助者が確保できない	90	3.8%
外出にお金がかかる	218	9.3%
周囲の目が気になる	147	6.2%
発作など突然の身体の変化が心配	194	8.2%
困った時にどうすればいいのか心配	256	10.9%
その他	140	6.0%
無回答	407	17.3%



外出するときに困ることは、「バスが少ない (ない)」が12.3% (288人)、次いで、「困った時にどうすればいいのか心配」が10.9% (256人)、「外出にお金がかかる」が、9.3% (218人) の順に高くなっています。

**問 3 5 災害の際の避難場所を知っていますか。**

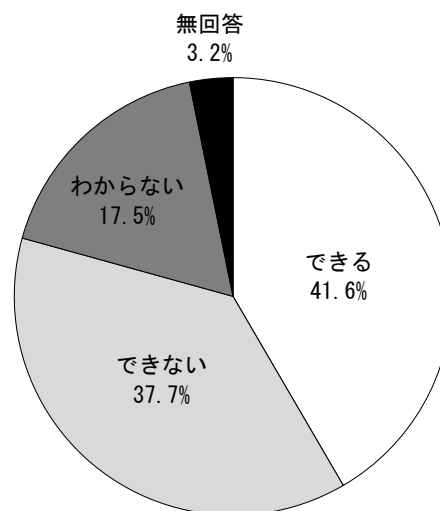
選択項目	人数	構成比
知っている	702	50.9%
知らない	606	43.9%
無回答	72	5.2%



災害の際の避難場所については、「知っている」が50.9%（702人）、「知らない」が43.9%（606人）と、4割以上の人知らないという結果になっています。

**問 3 6 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。**

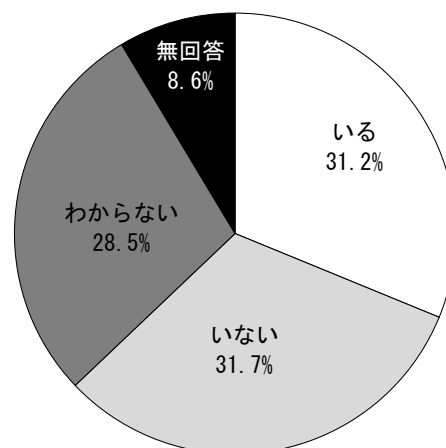
選択項目	人数	構成比
できる	574	41.6%
できない	520	37.7%
わからない	241	17.5%
無回答	45	3.2%



火災や地震等の災害時に一人で避難できるかについては、「できる」が41.6%（574人）、「できない」が37.7%（520人）、「わからない」が17.5%（241人）と、半数以上の人避難できないおそれがあるという結果になっています。

**問 3 7 一人暮らしの場合や家族が不在の場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。**

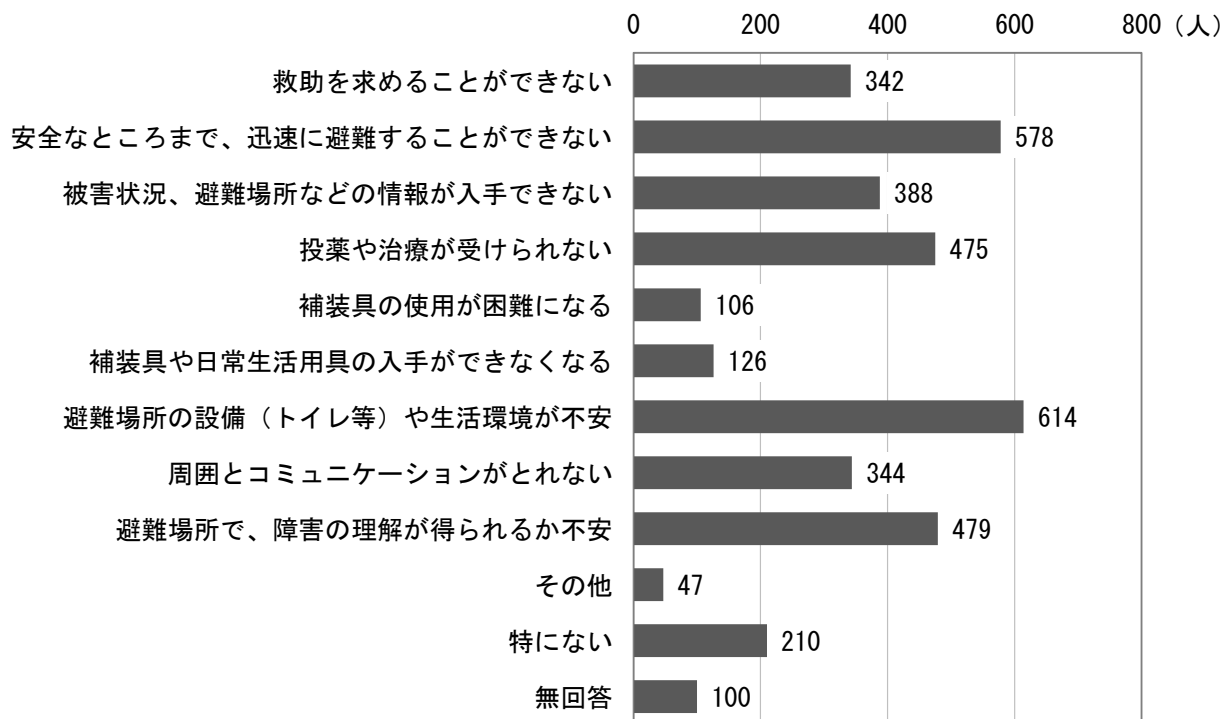
選択項目	人数	構成比
いる	431	31.2%
いない	437	31.7%
わからない	394	28.5%
無回答	118	8.6%



一人暮らしの場合や家族が不在の場合、近所にあなたを助けてくれる人はいるかについては、「いる」が31.2%（431人）、「いない」が31.7%（437人）、「わからない」が28.5%（394人）と、半数以上の人が助けを求められないおそれがあるという結果になっています。

**問 3 8 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（複数回答）**

選択項目	人数	構成比
救助を求めることができない	342	9.0%
安全なところまで、迅速に避難することができない	578	15.2%
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	388	10.1%
投薬や治療が受けられない	475	12.5%
補装具の使用が困難になる	106	2.8%
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	126	3.3%
避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	614	16.1%
周囲とコミュニケーションがとれない	344	9.0%
避難場所で、障害の理解が得られるか不安	479	12.6%
その他	47	1.3%
特にない	210	5.5%
無回答	100	2.6%

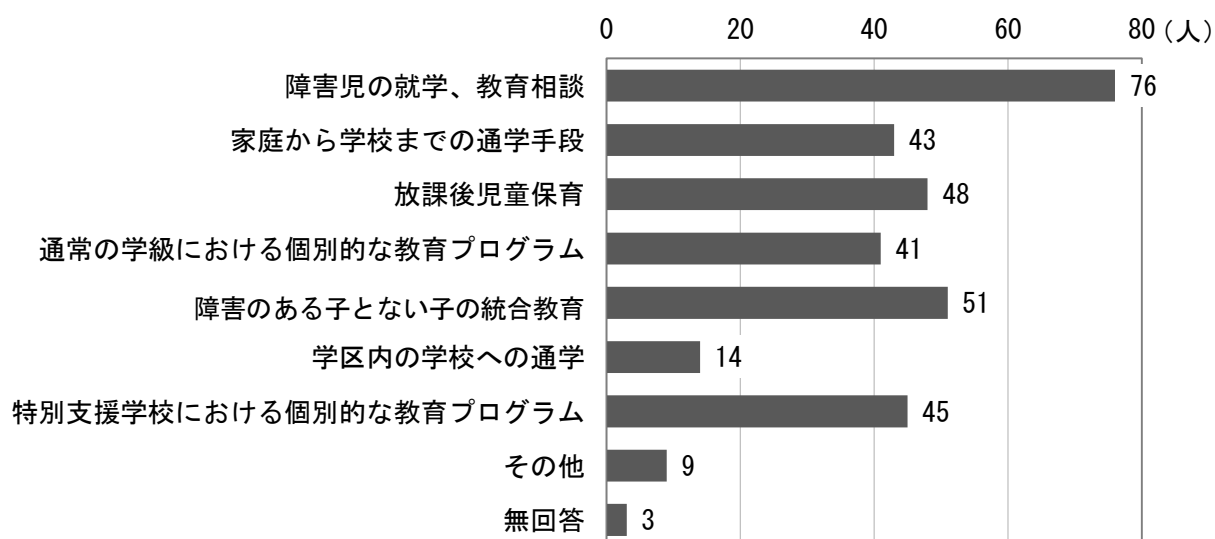


火事や地震等の災害時に困ることは、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が16.1%（614人）、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が15.2%（578人）、「避難場所で、障害の理解が得られるか不安」が12.6%（479人）、「投薬や治療が受けられない」が12.5%（475人）の順に高くなっています。

## 5 教育について

問39 あなたが今後さらに充実してほしいと思う教育施策は次のうちどれですか。  
(18歳未満の方のみお答えください。) (複数回答)

選択項目	人数	構成比
障害児の就学、教育相談	76	23.0%
家庭から学校までの通学手段	43	13.0%
放課後児童保育	48	14.6%
通常の学級における個別的な教育プログラム	41	12.4%
障害のある子とない子の交流教育	51	15.5%
学区内の学校への通学	14	4.3%
特別支援学校における個別的な教育プログラム	45	13.6%
その他	9	2.7%
無回答	3	0.9%

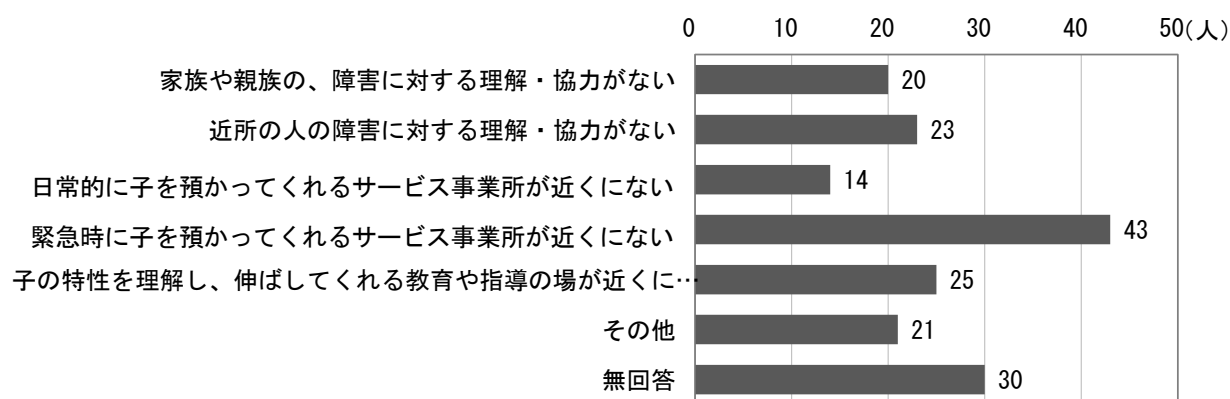


今後さらに充実してほしいと思う教育施策は、「障害児の就学、教育相談」が23.0% (76人)、「障害のある子とない子の交流教育」が15.5% (51人)、「放課後児童保育」が14.6% (48人)、「特別支援学校における個別的な教育プログラム」が13.6% (45人)の順に高くなっています。

**問40 お子さんを育てる上で、困難と感ずることは次のうちどれですか。**

**(18歳未満の方のみお答えください。)** (複数回答)

選択項目	人数	構成比
家族や親族の障害に対する理解・協力がない	20	11.4%
近所の人への障害に対する理解・協力がない	23	13.1%
日常的に子を預かってくれるサービス事業所が近くにない	14	8.0%
緊急時に子を預かってくれるサービス事業所が近くにない	43	24.4%
子の特性を理解し、伸ばしてくれる教育や指導の場が近くにない	25	14.2%
その他	21	11.9%
無回答	30	17.0%

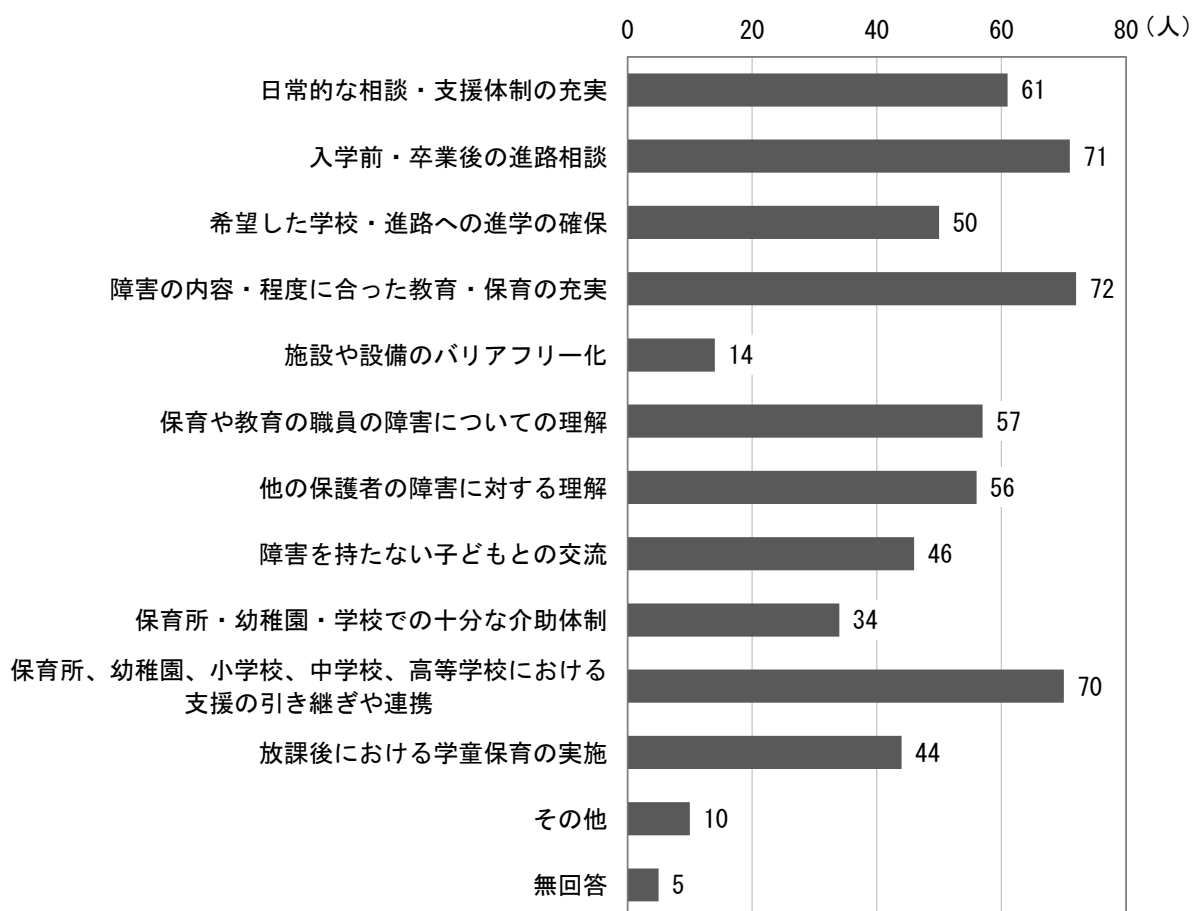


お子さんを育てる上で、困難と感ずることは、「緊急時に子を預かってくれるサービス事業所が近くにない」が24.4% (43人)、 「子の特性を理解し伸ばしてくれる教育や指導の場が近くにない」が14.2% (25人)、 「近所の人への障害に対する理解・協力がない」が13.1% (23人)、 「家族や親族の障害に対する理解・協力がない」が11.4% (20人) の順に高くなっています。



**問 4 1 お子さんの保育・教育環境について、今後希望することは次の内どれですか。**  
**（18歳未満の方のみお答えください。）** （複数回答）

選択項目	人数	構成比
日常的な相談・支援体制の充実	61	10.3%
入学前・卒業後の進路相談	71	12.0%
希望した学校・進路への進学確保	50	8.5%
障害の内容・程度に合った教育・保育の充実	72	12.2%
施設や設備のバリアフリー化	14	2.4%
保育や教育の職員の障害についての理解	57	9.7%
他の保護者の障害に対する理解	56	9.5%
障害を持たない子どもとの交流	46	7.8%
保育所・幼稚園・学校での十分な介助体制	34	5.8%
保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における支援の引き継ぎや連携	70	11.9%
放課後における学童保育の実施	44	7.4%
その他	10	1.7%
無回答	5	0.8%

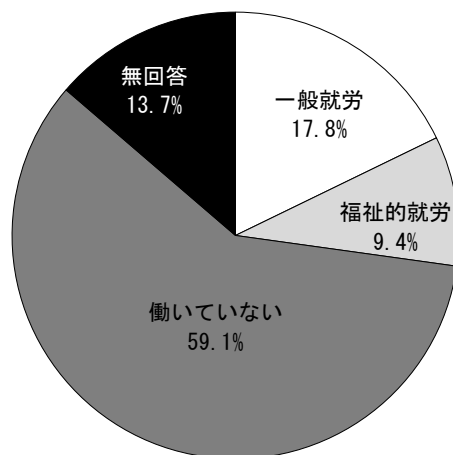


お子さんの保育・教育環境について、今後希望することは、「障害の内容・程度に合った教育・保育の充実」が12.2%（72人）、「入学前・卒業後の進路相談」が12.0%（71人）、「保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における支援の引き継ぎや連携」が11.9%（70人）、「日常的な相談・支援体制の充実」が10.3%（61人）の順に高くなっています。

## 6 雇用、就業について

### 問42 あなたは現在働いていますか。

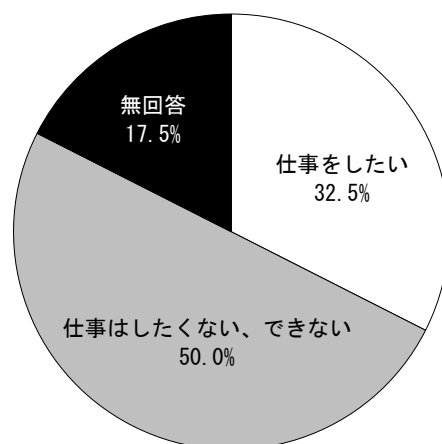
選択項目	人数	構成比
一般就労	246	17.8%
福祉的就労（一般企業以外で働く）	130	9.4%
働いていない	815	59.1%
無回答	189	13.7%



現在働いているかについては、「一般就労」が17.8%（246人）、「福祉的就労（一般企業以外で働く）」が9.4%（130人）となり、27.2%（376人）が働いています。

### 問43 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（問42で、「働いていない」を選択した18歳から64歳の方はお答えください。）

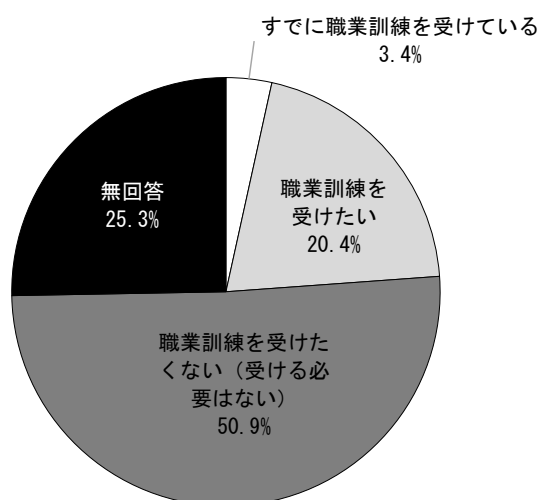
選択項目	人数	構成比
仕事をしたい	113	32.5%
仕事はしたくない、できない	174	50.0%
無回答	61	17.5%



今後、収入を得る仕事をしたいと思うかは、「仕事をしたい」が32.5%（113人）、「仕事はしたくない、できない」が50.0%（174人）となっています。

**問 4 4 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。（問 4 2で、「働いていない」を選択した18歳から64歳の方はお答えください。）**

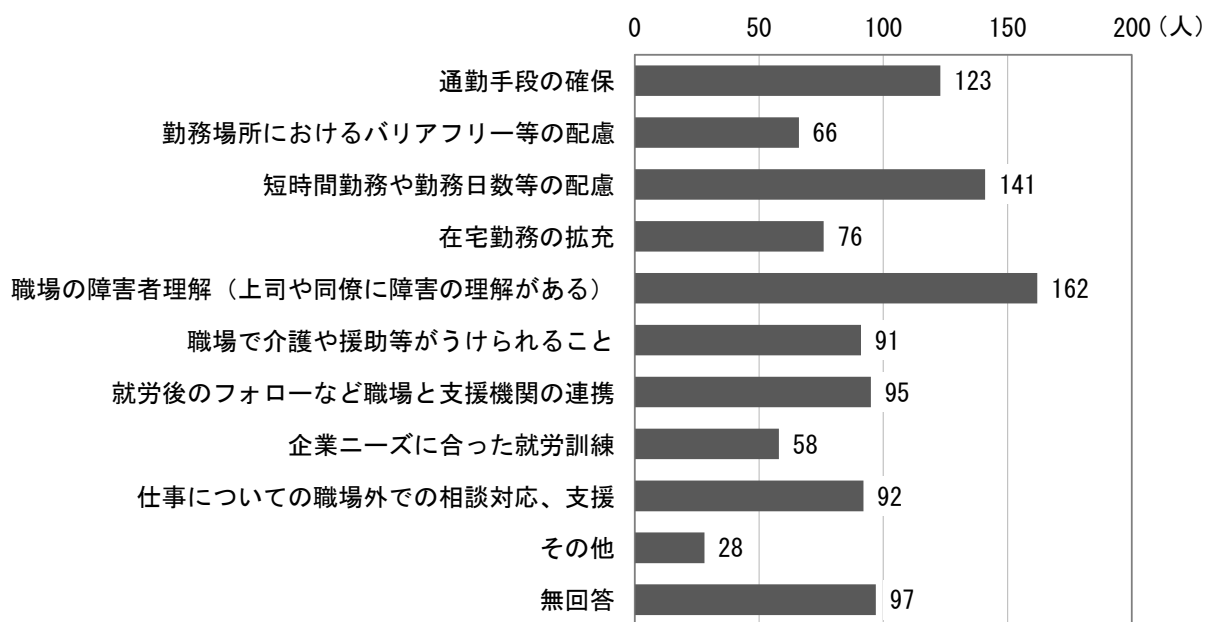
選択項目	人数	構成比
すでに職業訓練を受けている	12	3.4%
職業訓練を受けたい	71	20.4%
職業訓練を受けたくない（受ける必要はない）	177	50.9%
無回答	88	25.3%



収入を得る仕事を得るために職業訓練などを受けたいと思うかについては、「すでに職業訓練を受けている」が3.4%（12人）、「職業訓練を受けたい」が20.4%（71人）となっています。また、「職業訓練を受けたくない（受ける必要はない）」と思っている人は50.9%（177人）を占めています。

**問45 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。**  
**（問42で、「働いていない」を選択した18歳から64歳の方はお答えください。）**（複数回答）

選択項目	人数	構成比
通勤手段の確保	123	12.0%
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	66	6.4%
短時間勤務や勤務日数等の配慮	141	13.7%
在宅勤務の拡充	76	7.4%
職場の障害者理解（上司や同僚に障害の理解がある）	162	15.8%
職場で介助や援助等が受けられること	91	8.9%
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	95	9.2%
企業ニーズに合った就労訓練	58	5.6%
仕事についての職場外での相談対応、支援	92	8.9%
その他	28	2.7%
無回答	97	9.4%

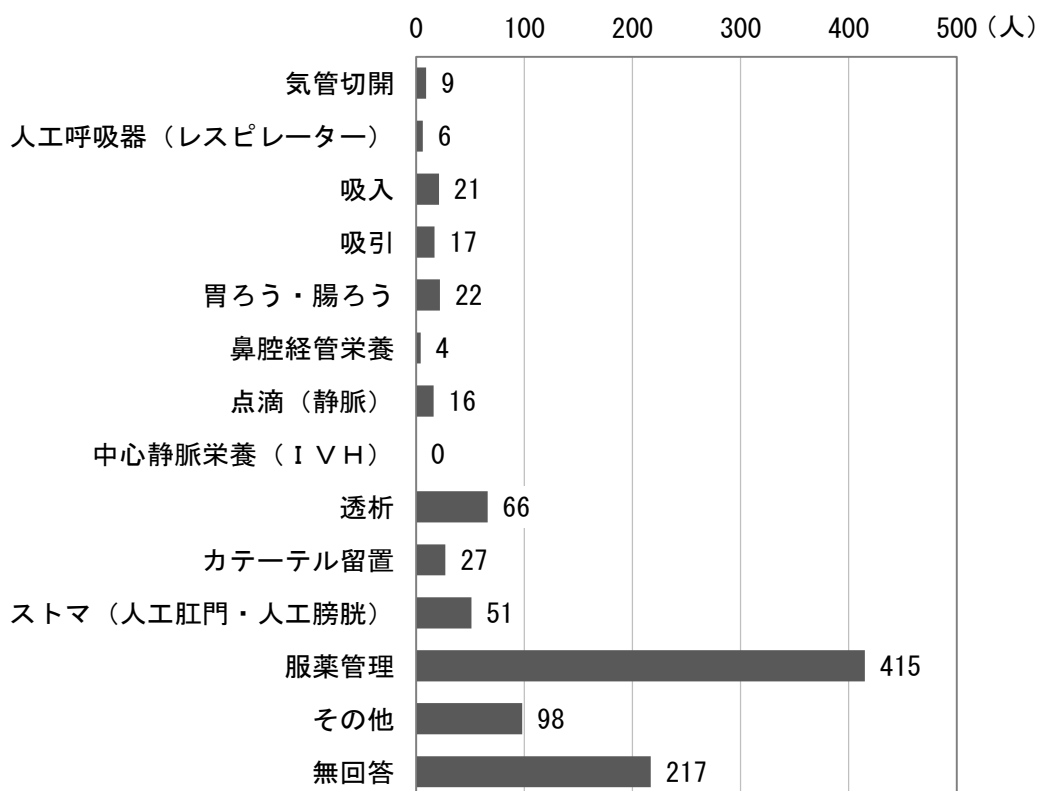


障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思うかについては、「職場の障害者理解（上司や同僚に障害の理解がある）」が15.8%（162人）、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が13.7%（141人）、「通勤手段の確保」が12.0%（123人）、「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が9.2%（95人）順に高くなっています。

## 7 医療制度について

問46 あなたが現在受けている医療ケアについて回答してください。（複数回答）

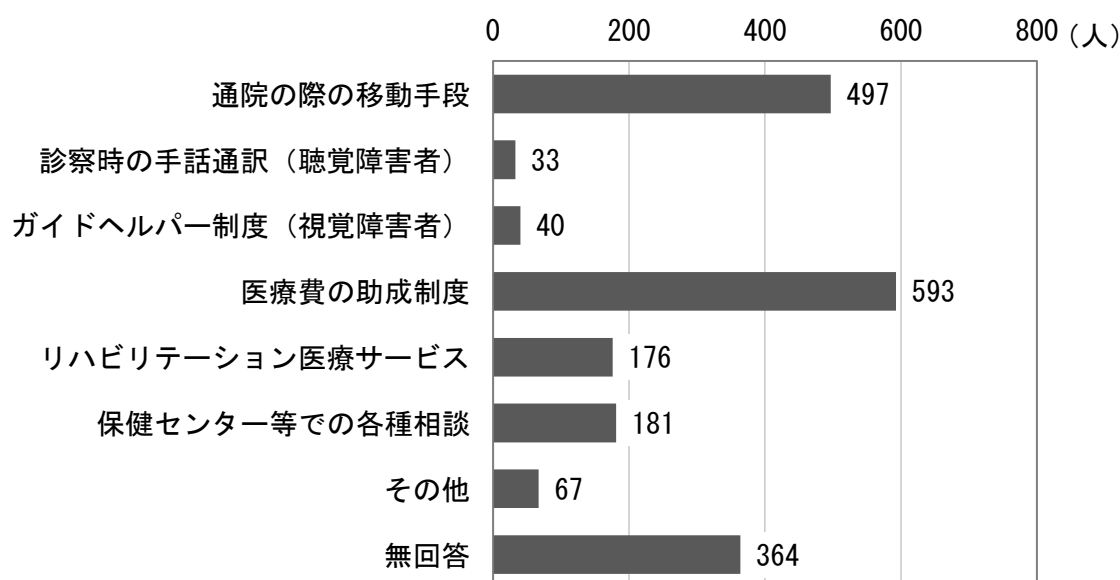
選択項目	人数	構成比
気管切開	9	0.9%
人工呼吸器（レスピレーター）	6	0.6%
吸入	21	2.2%
吸引	17	1.8%
胃ろう・腸ろう	22	2.3%
鼻腔経管栄養	4	0.4%
点滴（静脈）	16	1.6%
中心静脈栄養（IVH）	0	0.0%
透析	66	6.8%
カテーテル留置	27	2.8%
ストマ（人工肛門・人工膀胱）	51	5.3%
服薬管理	415	42.8%
その他	98	10.1%
無回答	217	22.4%



現在受けている医療ケアは、「服薬管理」が42.8%（415人）、と4割以上を占めました。次いで、「透析」が6.8%（66人）、「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」が5.3%（51人）となっています。

**問 4 7 医療を受ける際にあなたが今後さらに充実してほしいと思う支援制度はどれですか。**（複数回答）

選択項目	人数	構成比
通院の際の移動手段	497	25.5%
診察時の手話通訳（聴覚障害者）	33	1.7%
ガイドヘルパー制度（視覚障害者）	40	2.0%
医療費の助成制度	593	30.4%
リハビリテーション医療サービス	176	9.0%
保健センター等での各種相談	181	9.3%
その他	67	3.4%
無回答	364	18.7%

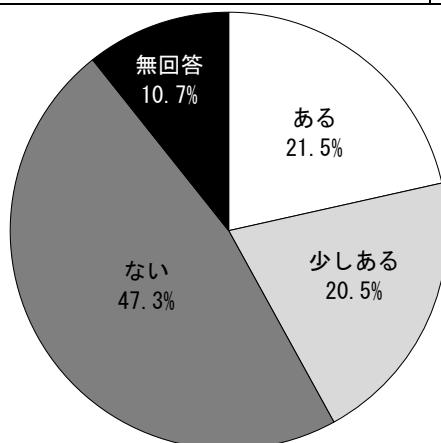


医療を受ける際に今後さらに充実してほしいと思う支援制度は、「医療費の助成制度」が30.4%（593人）、次いで、「通院の際の移動手段」が25.5%（497人）、「保健センター等での各種相談」が、9.3%（181人）の順に高くなっています。

## 8 権利擁護について

問48 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

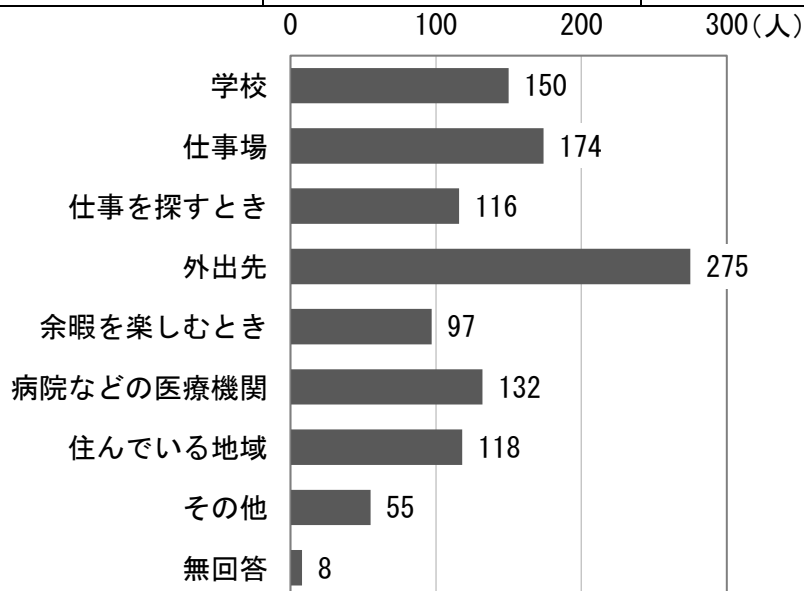
選択項目	人数	構成比
ある	296	21.5%
少しある	283	20.5%
ない	653	47.3%
無回答	148	10.7%



障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかどうかについては、「ある」が21.5%（296人）、「少しある」が20.5%（283人）となり、42.0%（579人）と4割以上の方が何らかの差別や嫌な思いをする（した）ことがあるという結果になりました。「ない」と答えた方は47.3%（653人）となっています。

**問 4 9** どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（問 4 8 で、「ある」、「少しある」を選択した場合にお答えください。）（複数回答）

選択項目	人数	構成比
学校	150	13.3%
仕事場	174	15.5%
仕事を探すとき	116	10.3%
外出先	275	24.5%
余暇を楽しむとき	97	8.6%
病院などの医療機関	132	11.7%
住んでいる地域	118	10.5%
その他	55	4.9%
無回答	8	0.7%

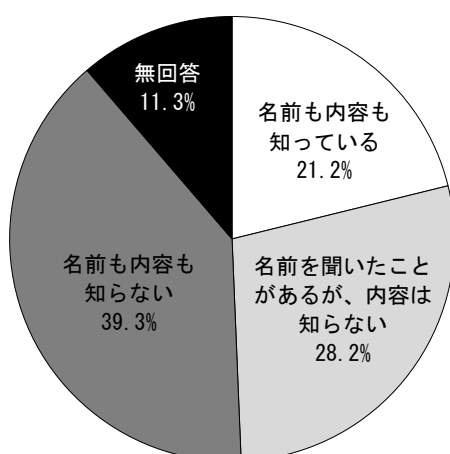


どのような場所で差別や嫌な思いをしたかについては、「外出先」が24.5%（275人）、次いで「仕事場」が15.5%（174人）、「学校」が13.3%（150人）の順に高くなっています。

**問 5 0** 成年後見制度について知っていますか。

選択項目	人数	構成比
名前も内容も知っている	292	21.2%
名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	389	28.2%
名前も内容も知らない	543	39.3%
無回答	156	11.3%



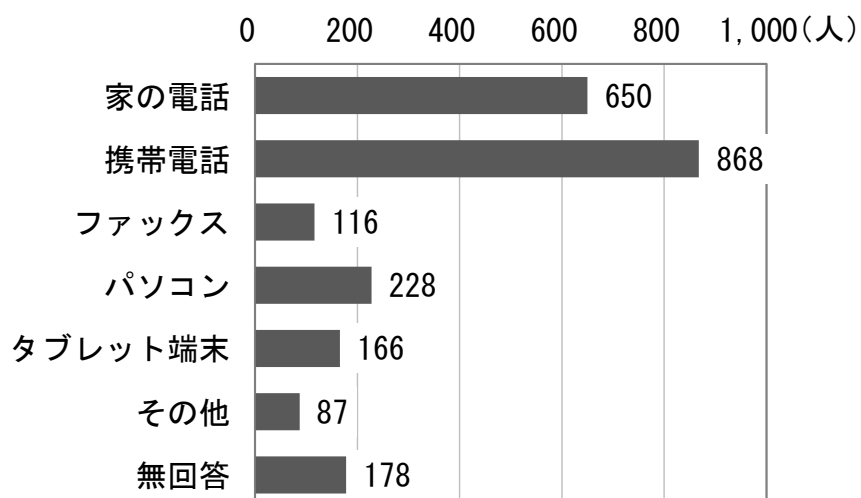


成年後見制度について知っているかどうかは、「名前も内容も知っている」が21.2%（292人）、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が28.2%（389人）、「名前も内容も知らない」が39.3%（543名）となっています。

## 9 情報、コミュニケーションについて

問51 あなたが現在使用している機器はどれですか。（複数回答）

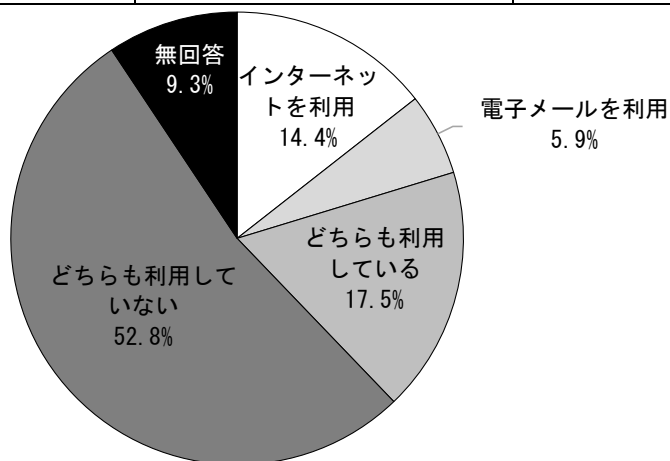
選択項目	人数	構成比
家の電話	650	28.3%
携帯電話	868	37.9%
ファックス	116	5.1%
パソコン	228	9.9%
タブレット端末	166	7.2%
その他	87	3.8%
無回答	178	7.8%



現在使用している機器については、「携帯電話」が37.9%（868人）、次いで「家の電話」が28.3%（650人）、「パソコン」が9.9%（228人）の順に高くなっています。

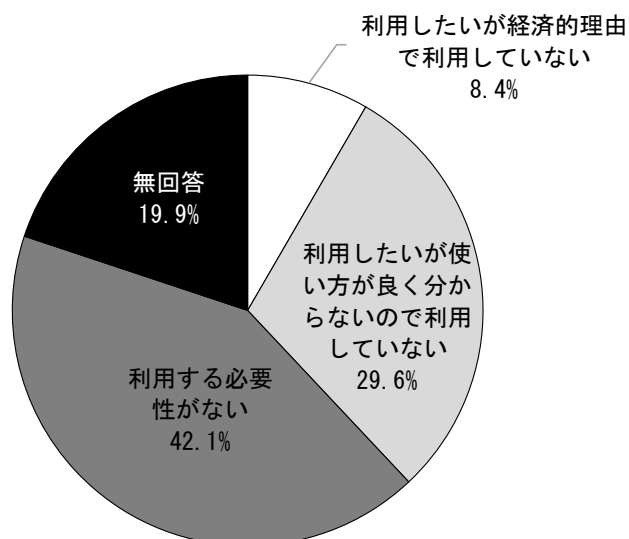
**問52 あなたは現在インターネット又は電子メールを利用していますか。**

選択項目	人数	構成比
インターネットを利用	199	14.4%
電子メールを利用	81	5.9%
どちらも利用している	242	17.5%
どちらも利用していない	729	52.8%
無回答	129	9.4%



**問52で「どちらも利用していない」と回答した方で利用しない理由はなんですか。**

選択項目	人数	構成比
利用したいが経済的理由で利用していない	61	8.4%
利用したいが使い方が良く分からないので利用しない	216	29.6%
利用する必要性がない	307	42.1%
無回答	145	19.9%



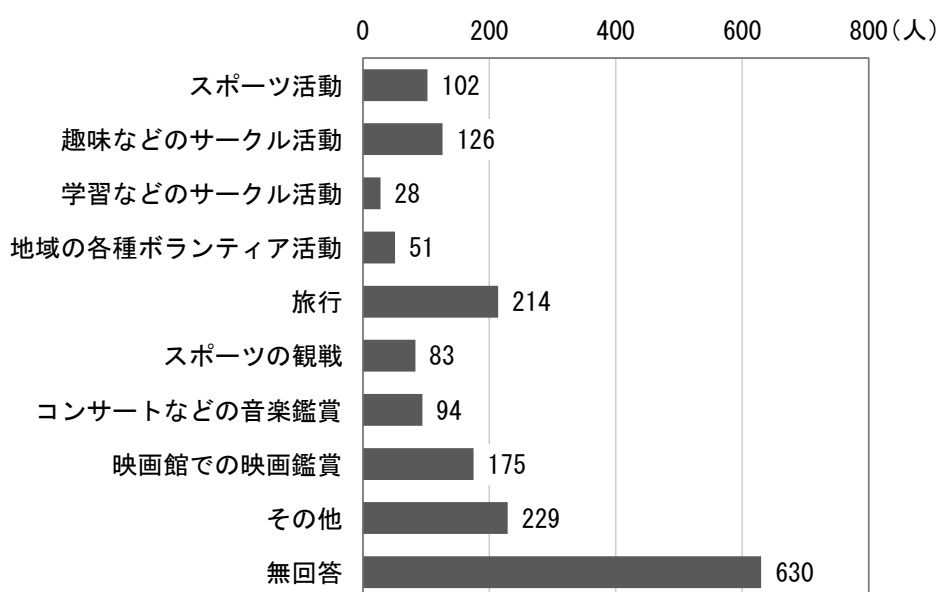
インターネット又は電子メールを利用しているかについては、「インターネットを利用」が14.4%（199人）、「電子メールを利用」が5.9%（81人）、「どちらも利用している」が17.5%（242人）となっています。

一方で、「どちらも利用していない」が52.8%（729人）で、その理由としては、「利用する必要性がない」が42.1%（307人）と4割以上を占めています。

## 10 スポーツ、文化活動について

問53 あなたが現在行っている活動はどれですか。（複数回答）

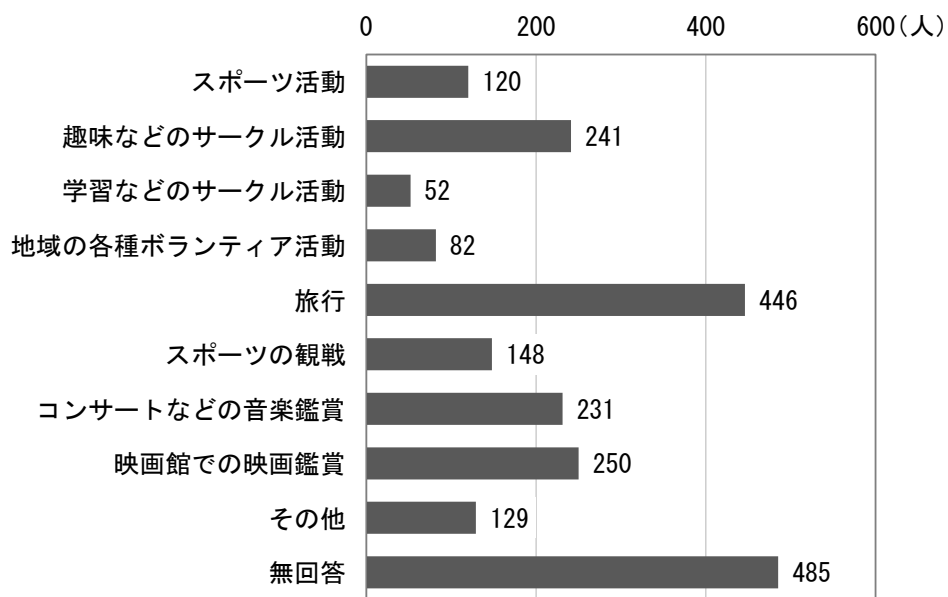
選択項目	人数	構成比
スポーツ活動	102	5.9%
趣味などのサークル活動	126	7.3%
学習などのサークル活動	28	1.6%
地域の各種ボランティア活動	51	2.9%
旅行	214	12.4%
スポーツ観戦	83	4.8%
コンサートなどの音楽鑑賞	94	5.4%
映画館での映画鑑賞	175	10.1%
その他	229	13.2%
無回答	630	36.4%



現在行っている活動は、「旅行」が12.4%（214人）、「映画館での映画鑑賞」が10.1%（175人）、「趣味などのサークル活動」が7.3%（126人）の順に高くなっています。

**問54 あなたが今後行いたい活動はどれですか。（複数回答）**

選択項目	人数	構成比
スポーツ活動	120	5.5%
趣味などのサークル活動	241	11.0%
学習などのサークル活動	52	2.4%
地域の各種ボランティア活動	82	3.8%
旅行	446	20.4%
スポーツ観戦	148	6.8%
コンサートなどの音楽鑑賞	231	10.6%
映画館での映画鑑賞	250	11.4%
その他	129	5.9%
無回答	485	22.2%



今後行いたい活動は、「旅行」が20.4%（446人）、「映画館での映画鑑賞」が11.4%（250人）、「趣味などのサークル活動」が11.0%（241人）、「コンサートなどの音楽鑑賞」が10.6%（231人）の順に高くなっています。

### (3) 障害者福祉に関する実態調査の結果概要

#### ① 項目ごとの傾向について

##### ○「年齢・家族の状況について」

回答者の年齢は、60歳以上が約53%となっています。家族の状況については、家族と暮らしている方が約79%、一人暮らしの方が約16%となっています。

##### ○「日常生活」について

何らかの形で介護が必要な方は、約24%となっています。主な介護者は、家族が約72%、ヘルパーが18%となっています。

介護をしている家族の半数近くが、60歳以上となっています。

##### ○「悩み等の相談相手」について

相談相手は、家族・親せき・友人・知人等の身近な方が約半数、かかりつけの医師や施設の職員等が約22%となっています。

##### ○「障害福祉情報の入手」について

情報の入手としては、家族、新聞・テレビ等、広報なすしおばらで約半数となっています。情報の満足度については、普通が約47%、満足しているが約25%、不満が約16%となっています。

##### ○「那須塩原市障害者相談支援センター等の行政が設置している相談窓口」について

知っているが約46%、どこも知らないが約47%となっています。

##### ○「平日の日中の過ごし方」について

自宅で過ごしているが約31%、仕事をしているが約20%、福祉施設の作業所に通っているが約12%となっています。

##### ○「現在の住まい」について

持ち家が73%、借家が約14%、福祉施設等が約7%となっています。なお福祉施設等で生活している方は今後の生活については、今のまま生活したいが約54%、家族と生活したいが約24%となっています。

##### ○「今後の生活形態」について

何らかの形で自宅生活したいが約74%が、施設等の生活は約13%となっています。

##### ○「福祉サービスの利用等について」

現在利用している福祉サービスは、「福祉タクシー利用券等の助成給付」「相談支援」「自立支援医療制度」が主なものとなっています。

今後利用したいサービスについては、「福祉タクシー利用券等の助成給付」「相談支援」「補装具又は日常生活用具の給付」が主なものとなっています。

##### ○「外出」について

週に数回以上外出する方は約73%、ほとんど又は全く外出しないは約21%となっています。

外出の目的は、買い物や受診が主ものとなっています。

外出の同伴者としては、家族が約46%、ヘルパーが約9%となっています。一人で外出できるのは約36%となっています。

外出で困ることとしては、バスが少ないや公共交通の乗り降りが困難等公共交通についてのものが約31%となっています。

○「災害関係」について

災害の際の避難所については、知らないが約44%、知っているが約51%となっています。

災害の際の避難については、一人で避難できないが約38%、一人で避難できるが約42%、わからないが約18%となっています。

○「教育」について

教育を受ける際に充実して欲しい施策については、障害児の就学、教育相談と回答した方が23%、障害のある子とない子の交流教育が約16%となっています。

子どもを育てる上で困難と感ずることは、日常的・緊急時に預かってくれる事業所が近くにないが、約32%となっています。

保育・教育環境について今後希望することは、相談体制等の充実が約22%、障害に対する理解が約19%となっています。

○「雇用・就業」について

一般就労で職についているが約18%、福祉的就労が約9%、就労していないが約59%となっています。

福祉的就労、働いていない方の内、今後仕事をしたい方は、約33%、仕事をしたくない、できない方は50%となっています。

○「医療制度」について

医療を受ける際に充実してほしい支援制度については、医療費の助成制度と回答した方が約30%、通院の際の移動手段と回答した方は約26%となっています。

○「権利擁護及び成年後見制度」について

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかについては、42%があると答えています。

成年後見制度については、約39%が名前も制度も知らないと答えています。

○「コミュニケーション等の連絡手段」について

携帯電話が約38%、固定電話が約28%、パソコン等約17%、FAX約5%となっています。

○「スポーツ、文化活動」について

現在行っている活動、今後行いたい活動とも、旅行がトップとなっています。

## ② まとめ

回答者の7割以上の方が自宅で暮らすことを望んでいるが、介助を行っている人の5割近くが60歳以上となっており、地域で暮らす障害のある人を支えるためには、障害福祉サービスの充実や緊急時に対応できる支援体制の整備が必要な状況にあります。

今後利用したいサービスとして、福祉タクシー利用券等の公共交通機関利用助成給付や相談支援を挙げている方が多く、福祉タクシー利用券等の外出支援や現在の相談支援体制を今後も継続していく必要があります。

また、18歳未満のお子さんを支える家族等が今後希望する保育・教育環境についても、日常的な相談や卒業後の進路相談などの相談支援体制の充実を望む声が多くあります。

市では障害者相談支援センターなどの相談窓口を複数設置していますが、約5割の方が知らないと回答しており、今後より一層の周知を行うことが必要です。

また、相談支援体制の充実と併せて、障害福祉の各種制度に関する情報を知っていただくために広く周知をする必要があります。